

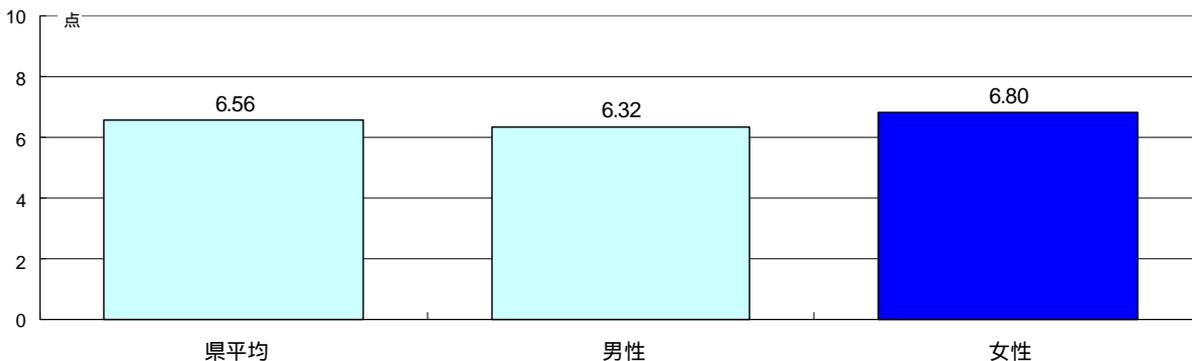
1 一属性のクロス分析

1(1) 性別

第1章 4ページ関係

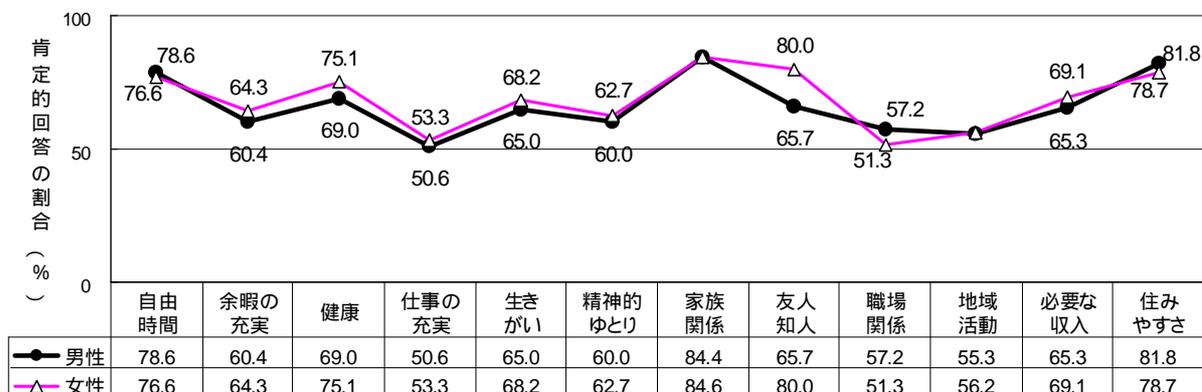
性別から幸福感を分析したところ、女性の方が男性より幸福感が高くなっています。

図表：性別の幸福感



女性の暮らしの実感を見ると、男性より、「相談できる友人や知人」がいるなどと感じています。

図表：男女別の暮らしの実感



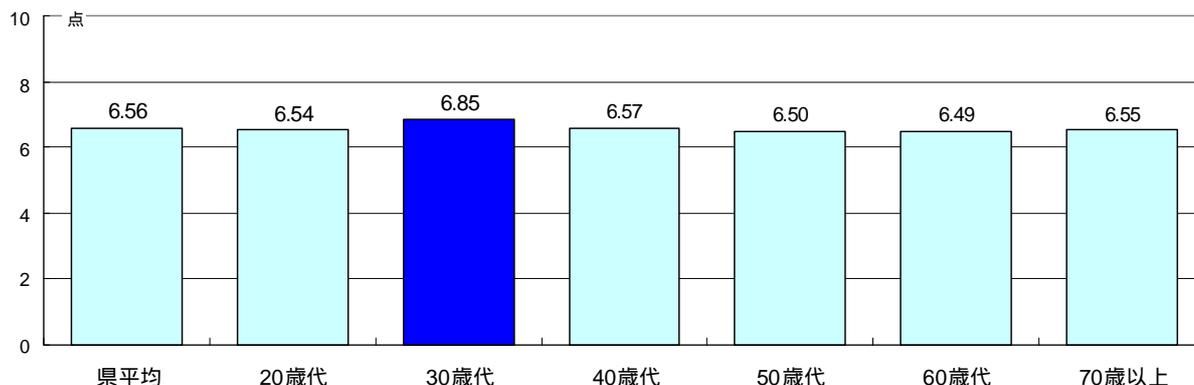
折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】
 女性は男性より幸福感が高くなっています。
 また女性は、男性より「相談できる友人や知人」がいるなどと感じています。

1(2)年代別

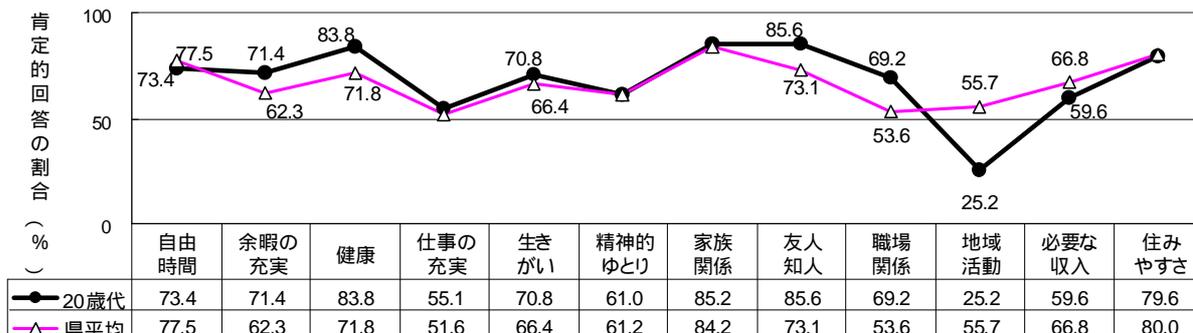
幸福感を年代別に見たところ、30歳代が県平均より高くなっています。それ以外の年代と県平均との差に統計的な有意な差は見られなません。

図表：年代別の幸福感



20歳代の暮らしの実感を見ると、県平均より、「必要な収入」や「自由な時間」がなく、「ご近所付き合いや地域での活動」はしていない一方、「相談できる友人や知人」があり、「職場での人間関係」が良好で、「余暇が充実」しているなどと感じています。

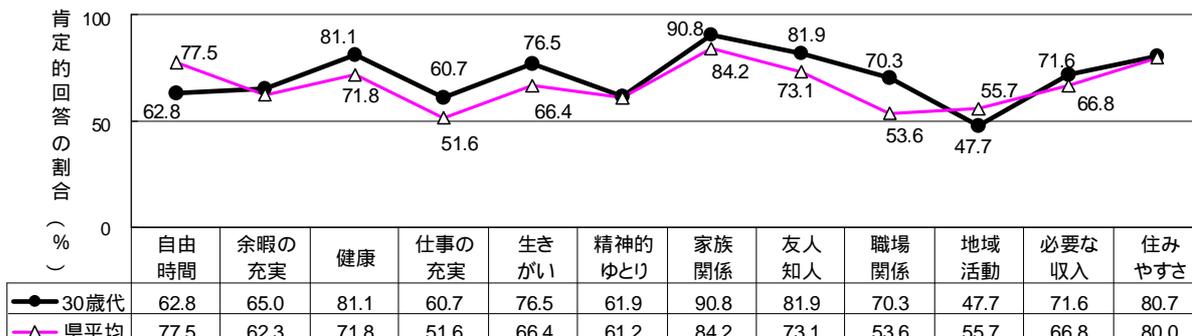
図表：20歳代の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

30歳代の暮らしの実感を見ると、県平均より、「自由な時間」はない一方、「健康」で「生きがい」や「必要な収入」はあり、「家族との関係」や「職場での人間関係」は良好で、「相談できる友人や知人」がいるなどと感じています。

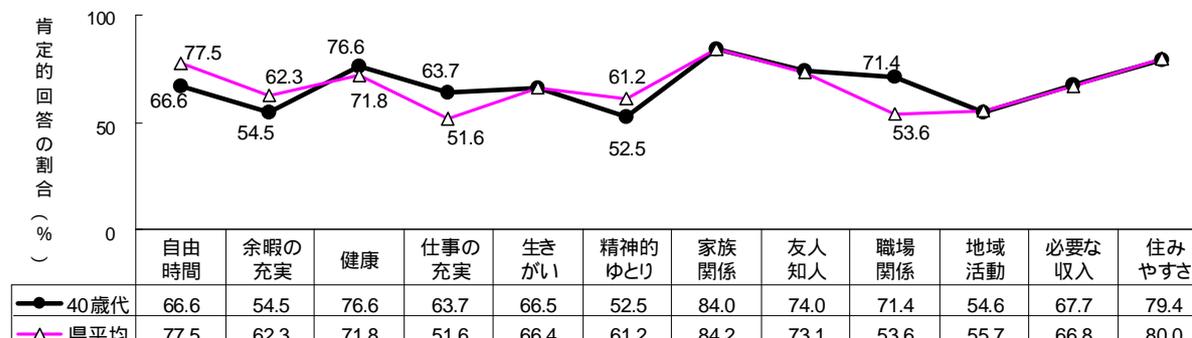
図表：30歳代の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

40歳代の暮らしの実感を見ると、県平均より、「仕事は充実」し、「職場での人間関係」は良好であると感じているものの、「自由な時間」や「精神的ゆとり」がなく、「余暇は充実」していないなどと感じています。

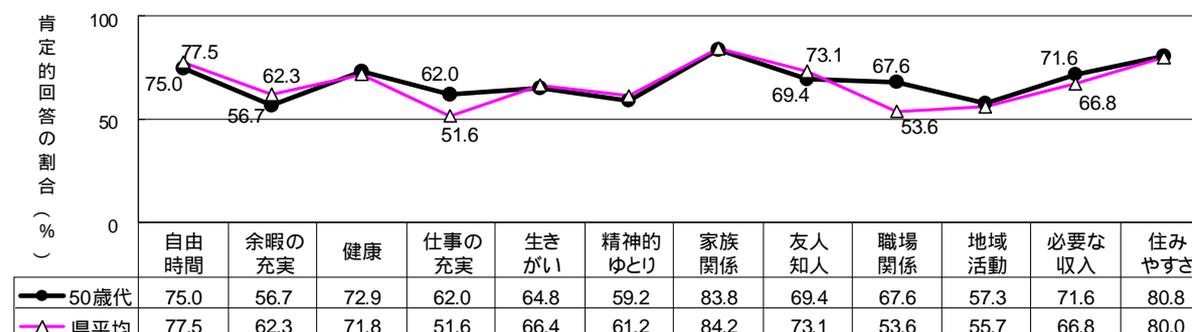
図表：40歳代の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

50歳代の暮らしの実感を見ると、県平均より、「仕事は充実」し、「職場での人間関係」が良好で、「必要な収入」がある一方、「自由な時間」がなく、「余暇は充実」しておらず、「相談できる友人や知人」がいないなどと感じています。

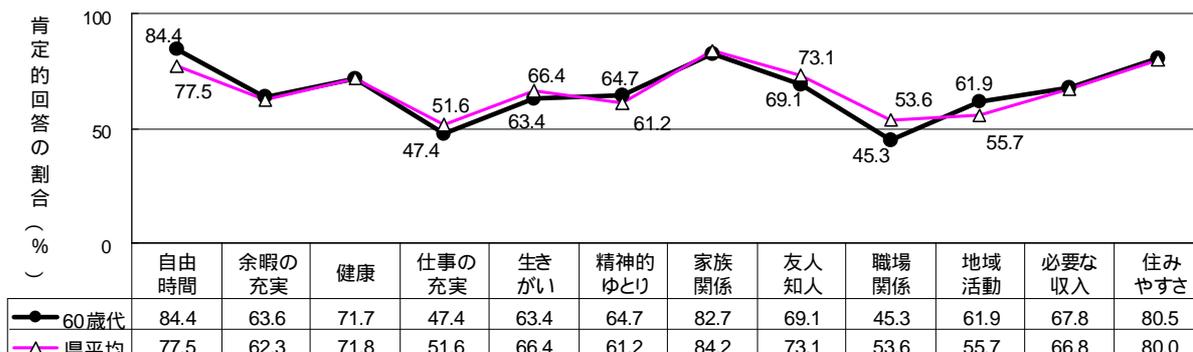
図表：50歳代の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

60歳代の暮らしの実感を見ると、県平均より、「自由な時間」や「精神的なゆとり」があり、「ご近所付き合いや地域での活動」をしている一方、「生きがい」がなく、「相談できる友人や知人」がないなどと感じています。

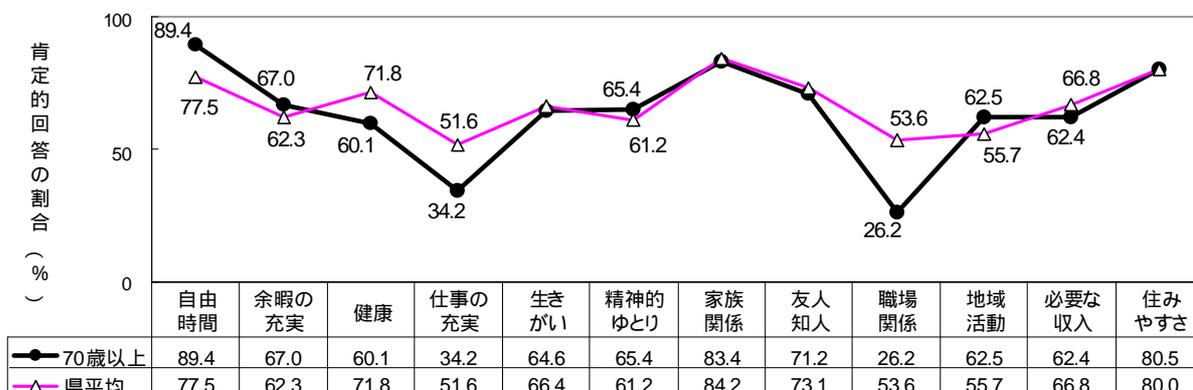
図表：60歳代の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

70歳以上の暮らしの実感を見ると、県平均より、「健康」でなく、「必要な収入」がないと感じる一方、「自由な時間」や「精神的なゆとり」があり、「ご近所付き合いや地域での活動」をしているなどと感じています。

図表：70歳以上の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

年代別では30歳代の幸福度が高く、それ以外の年代では特に差はありません。

暮らしの実感について、30歳代は県平均より「家族との関係」が良好で、20歳代と同様に「生きがい」があり、「相談できる友人や知人」がいるなどと感じています。

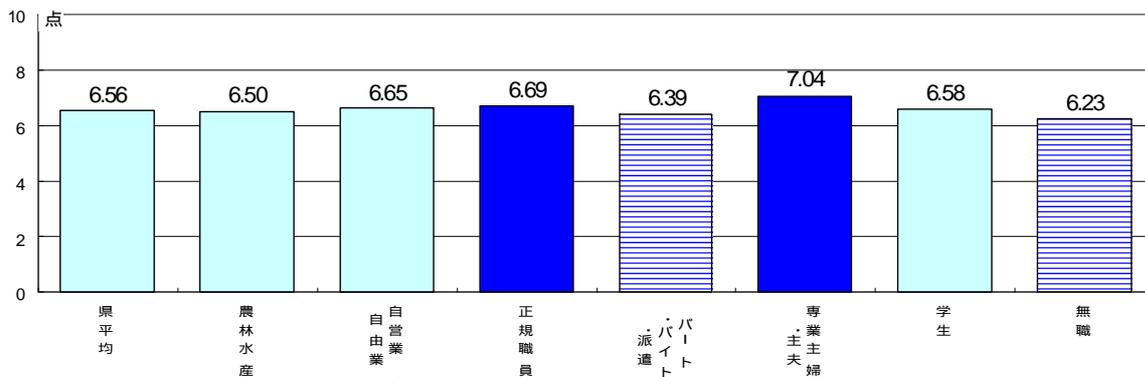
40歳代は「精神的ゆとり」がなく、50歳代と同様に、「自由な時間」もなく「余暇は充実」していないなどと感じています。

60歳以上は「自由な時間」や「精神的なゆとり」があり、「ご近所付き合いや地域での活動」をしていると感じ、また70歳以上では「余暇は充実」しているなどと感じています。

1(3) 職業別

幸福感を職業別に見たところ、専業主婦・主夫と正規職員が県平均より高く、無職とパート・バイト派遣が低くなっています。

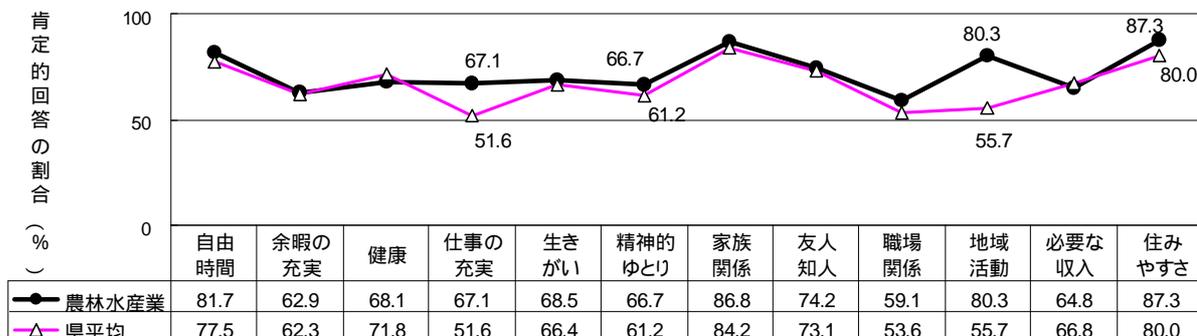
図表：職業別の幸福感



農林水産業、自営業・自由業、学生と県平均との間に統計的に有意な差は見られない。

農林水産業の暮らしの実感を見ると、県平均より、地域は「住みやすく」、「ご近所付き合いや地域での活動」をしているほか、「仕事は充実」し、「精神的なゆとり」があるなどと感じています。

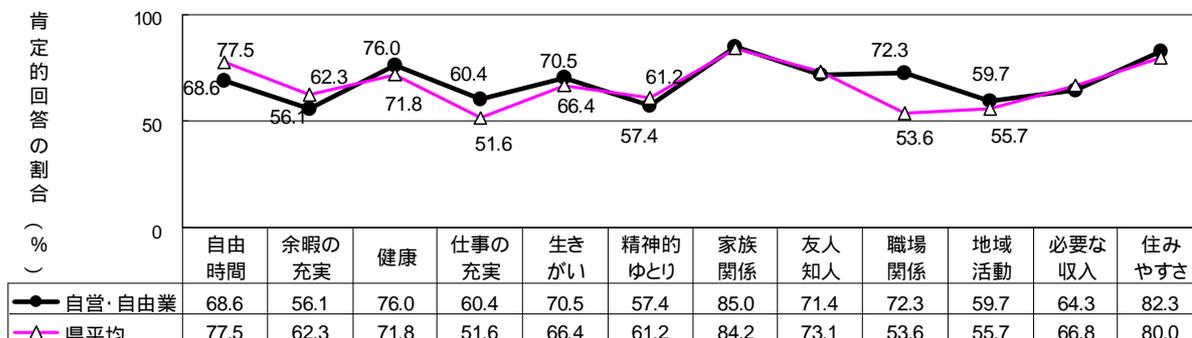
図表：農林水産業の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

自営業・自由業の暮らしの実感を見ると、県平均より、「自由な時間」や「精神的なゆとり」はなく、「余暇は充実」していないものの、「職場での人間関係」は良好で、「仕事は充実」しており、「健康」で「生きがい」があるなどと感じています。

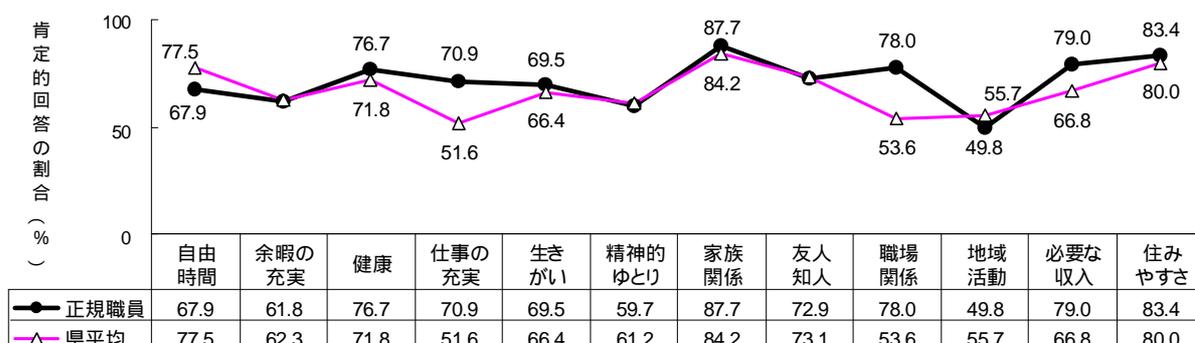
図表：自営業・自由業の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

正規職員の暮らしの実感を見ると、県平均より、「自由な時間」はなく「ご近所付き合いや地域での活動」はしていないものの、「職場での人間関係」や「家族との関係」は良好で、「仕事は充実」しており、「健康」で「必要な収入」や「生きがい」があるなどと感じています。

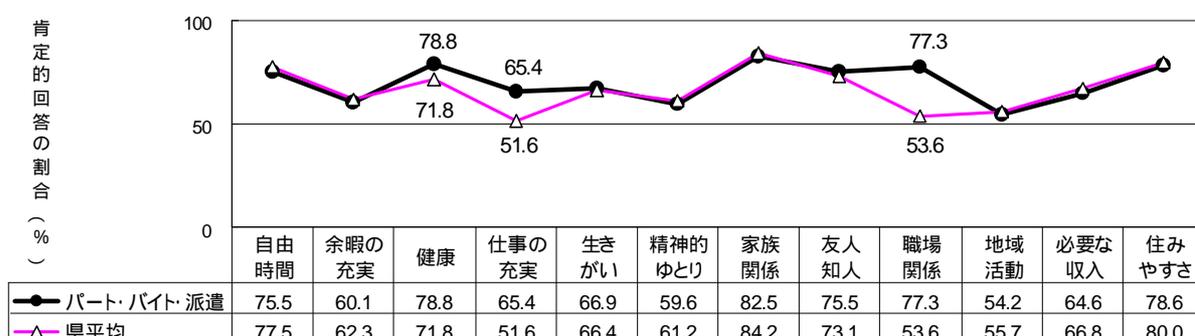
図表：正規職員の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

パート・バイト・派遣の暮らしの実感を見ると、県平均より、「健康」で、「仕事は充実」しており、「職場での人間関係」は良好であるなどと感じています。

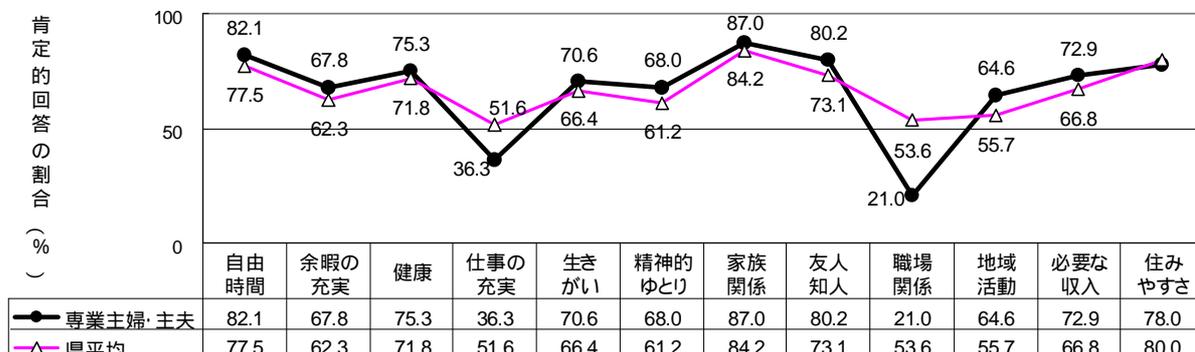
図表：パート・バイト・派遣の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

専業主婦・主夫の暮らしの実感を見ると、県平均より、「健康」で「自由な時間」や「精神的なゆとり」、「必要な収入」や「生きがい」があり、「家族との関係」は良好で「相談できる友人や知人」がいるなどと感じています。

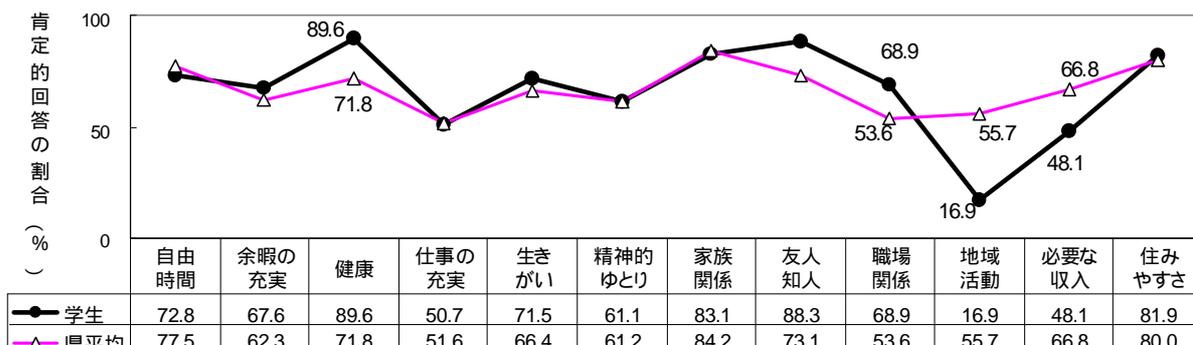
図表：専業主婦・主夫の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

学生の暮らしの実感を見ると、県平均より、「必要な収入」がなく「ご近所付き合いや地域での活動」はしていないものの、「健康」であるなどと感じています。

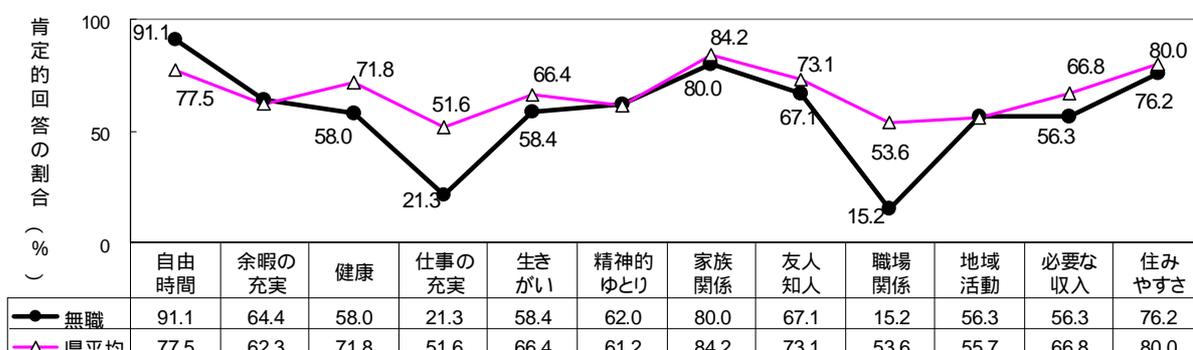
図表：学生の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

無職の暮らしの実感を見ると、県平均より、「自由な時間」あるものの、「健康」でなく、「必要な収入」や「生きがい」がないなどと感じています。

図表：無職の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

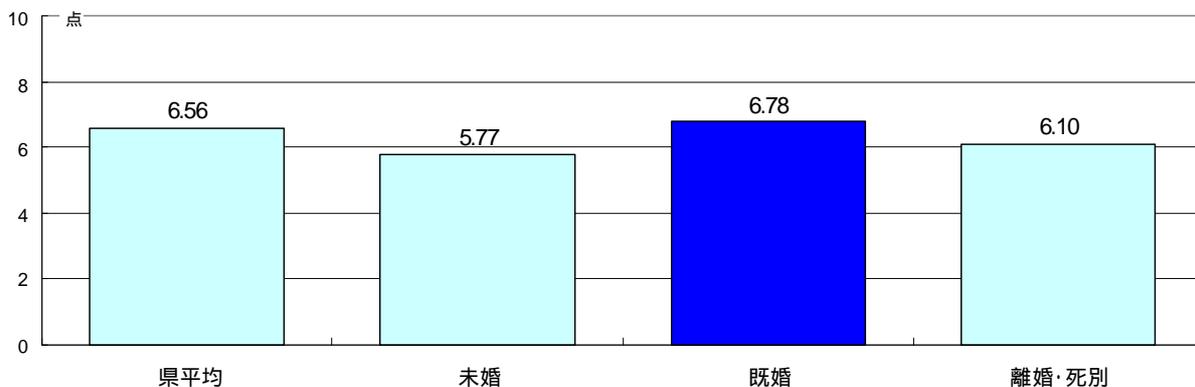
職業別の幸福度を見ると、専業主婦・主夫、正規職員が高く、無職とパート・バイト・派遣が低くなっています。

1(4) 結婚別

第1章 4ページ関係

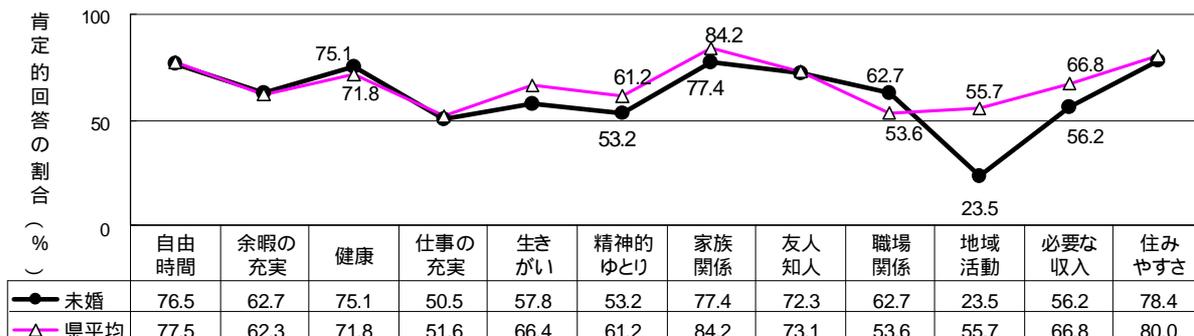
幸福感を結婚別に見たところ、既婚の幸福感が最も高くなっています。

図表：結婚別の幸福感



未婚の暮らしの実感を見ると、県平均より、「健康」で「職場での人間関係」は良好であるものの、「ご近所付き合いや地域での活動」はしておらず、「精神的なゆとり」や「必要な収入」がなく、さらに「家族との関係」は良好でないなどと感じています。

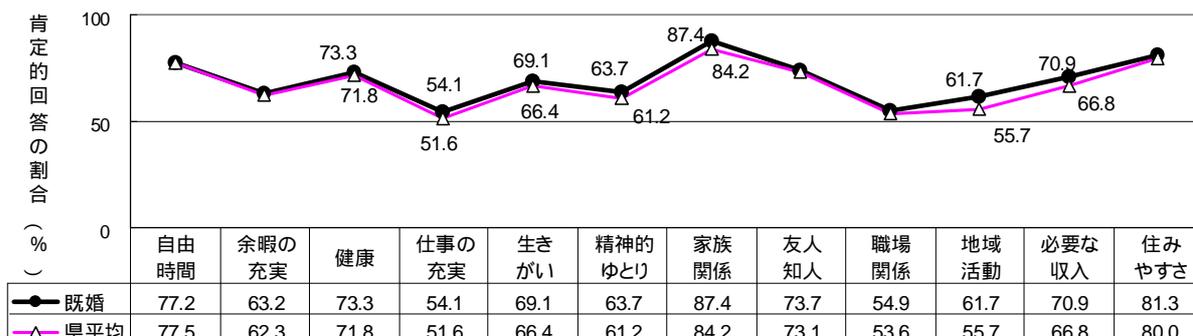
図表：未婚の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

既婚の暮らしの実感を見ると、県平均より、「ご近所付き合いや地域での活動」をしており、「家族との関係」が良好で、「必要な収入」や「生きがい」、「精神的なゆとり」があるなどと感じています。

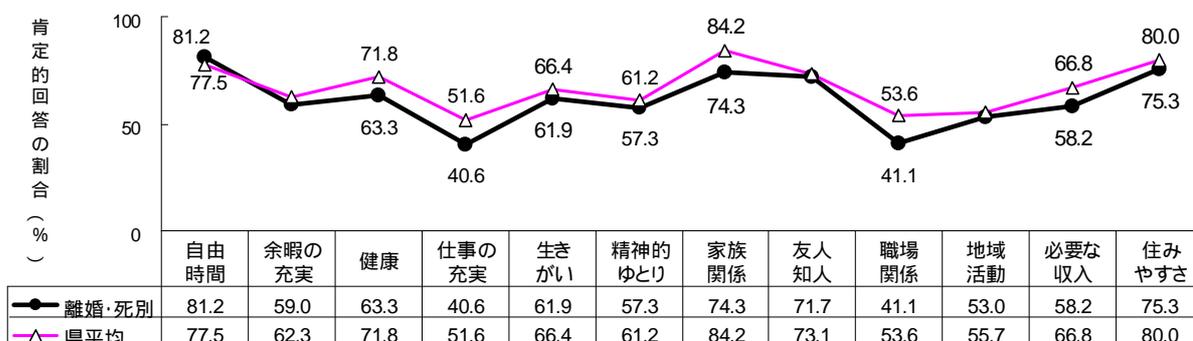
図表：既婚の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

離婚・死別の暮らしの実感を見ると、県平均より、「自由な時間」はあるものの、「職場での人間関係」が良好でなく、「必要な収入」や「生きがい」、「精神的なゆとり」がないなどと感じています。

図表：離婚・死別の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

結婚別の幸福度は、既婚がもっとも高くなっています。

未婚は、県平均より、「ご近所付き合いや地域での活動」はしておらず、「精神的なゆとり」や「必要な収入」がなく、さらに「家族との関係」は良好でないなどと感じています。

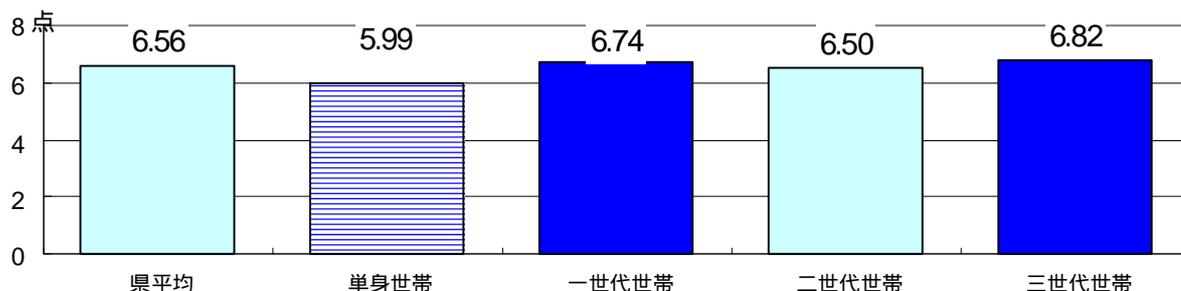
既婚は、ご近所付き合いや地域での活動」をしており、「家族との関係」が良好で、「必要な収入」や「生きがい」、「精神的なゆとり」があるなどと感じています。

離婚・死別は、「自由な時間」はあるものの、「家族との関係」や「職場での人間関係」は良好でなく、「必要な収入」や「生きがい」、「精神的なゆとり」がないなどと感じています。

1(5) 世帯構成別

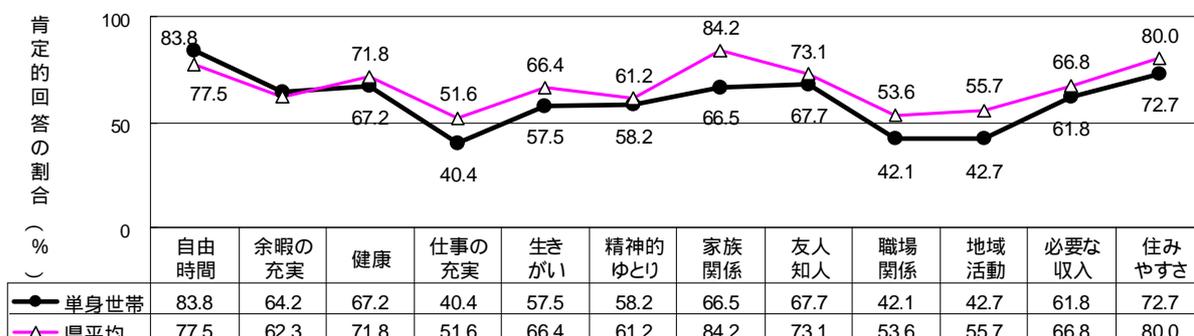
幸福感を世帯構成別に見たところ、単身世帯が県平均より低く、一世代世帯と三世代世帯が県平均より高くなっています。

図表：世帯構成別の幸福感



単身世帯の暮らしの実感を見ると、県平均より、「自由な時間」はあるものの、「仕事は充実」しておらず、「家族との関係」や「職場での人間関係」は良好ではなく、「生きがい」や「精神的なゆとり」、「必要な収入」がないなどと感じています。

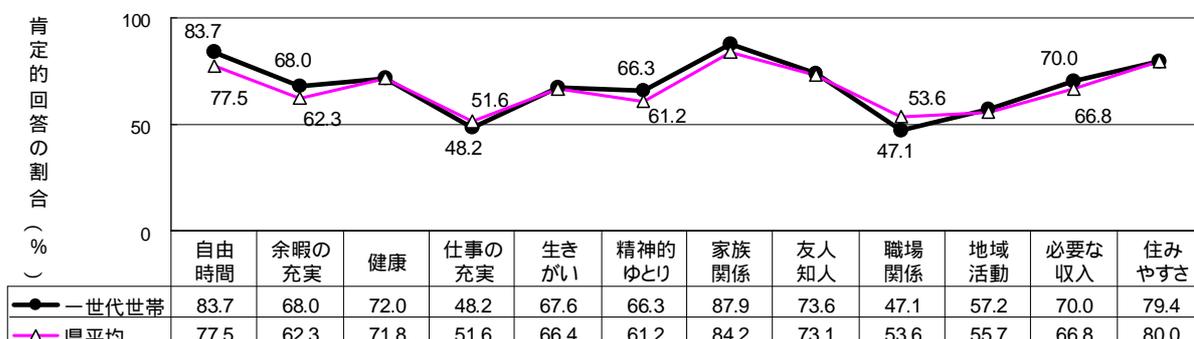
図表：単身世帯の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

一世代世帯の暮らしの実感を見ると、県平均より、「自由な時間」や「精神的なゆとり」、「必要な収入」があり、「余暇は充実」しているなどと感じています。

図表：一世代世帯の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

二世世代世帯の暮らしの実感を見ると、県平均より、「健康」で「仕事は充実」しており、「職場での人間関係」は良好であるものの、「自由な時間」や「精神的なゆとり」がないなどと感じています。

図表：二世世代世帯の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

三世世代世帯の暮らしの実感を見ると、県平均より、「仕事は充実」しており、「家族との関係」が良好で「生きがい」があり、さらに「ご近所付き合いや地域での活動」をし、地域は「住みやすい」などと感じています。

図表：三世世代世帯の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

世帯別の幸福度を見ると、県平均より単身世帯が低く、一世代世帯と三世世代世帯が高くなっています。

単身世帯は、県平均より、「自由な時間」はあるものの、「仕事は充実」しておらず、「家族との関係」や「職場での人間関係」は良好ではなく、「生きがい」や「精神的なゆとり」、「必要な収入」がないなどと感じています。

一世代世帯は、「自由な時間」や「精神的なゆとり」、「必要な収入」があり、「余暇は充実」しているなどと感じています。

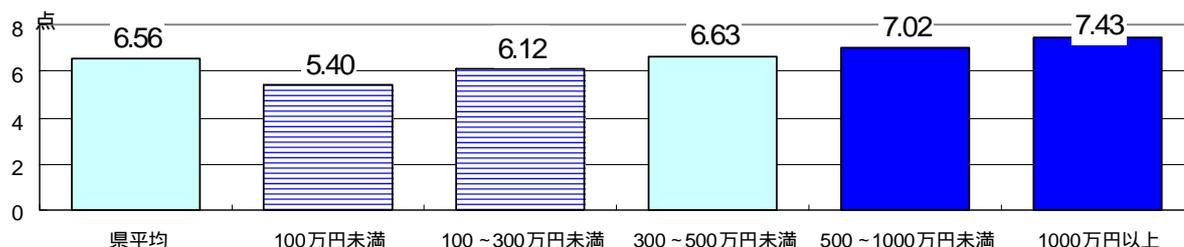
二世世代世帯は、「健康」で「仕事は充実」しており、「職場での人間関係」は良好であるものの、「自由な時間」や「精神的なゆとり」がないなどと感じています。

三世世代世帯は、「仕事は充実」しており、「家族との関係」が良好で「生きがい」があり、さらに「ご近所付き合いや地域での活動」をし、地域は「住みやすい」などと感じています。

1(6) 世帯収入別

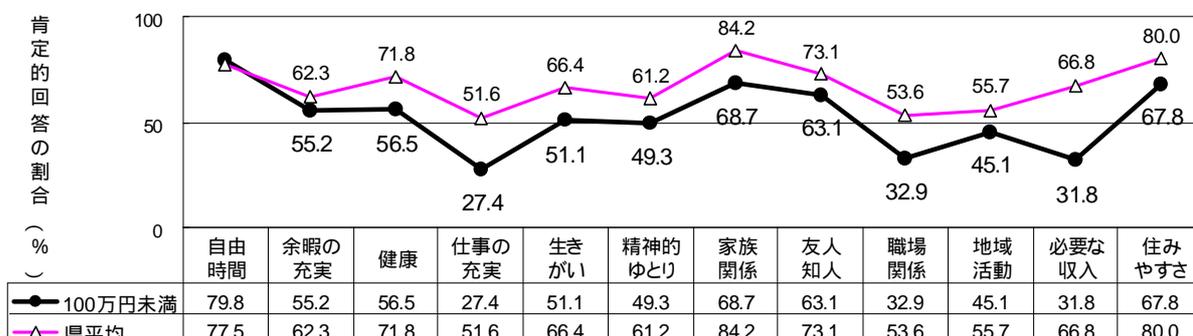
幸福感を世帯収入別に見たところ、300万円未満の世帯は県平均より低く、500万円以上の世帯は県平均より高くなっています。

図表：世帯収入別の幸福感



世帯収入が100万円未満の世帯の暮らしの実感を見ると、県平均より、「必要な収入」や「生きがい」、「精神的なゆとり」がなく、「家族との関係」や「職場での人間関係」が良好でなく、また「余暇」や「仕事」は充実しておらず、地域は「住みにくい」などと感じています。

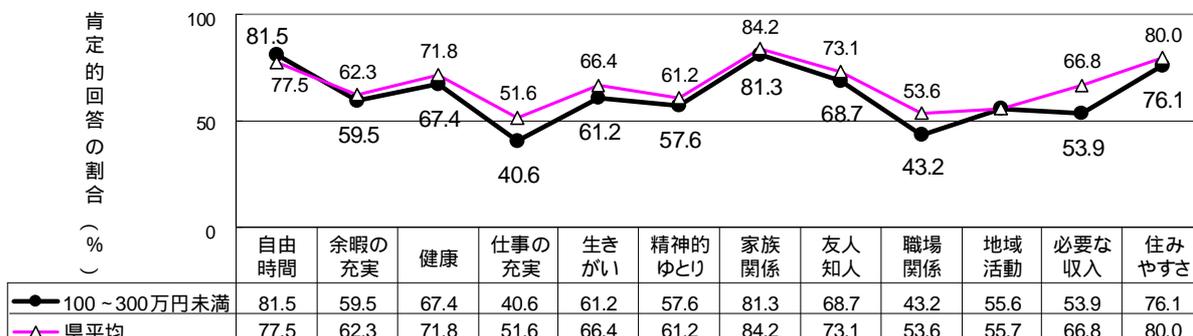
図表：世帯収入100万円未満の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

世帯収入が100~300万円未満の世帯の暮らしの実感を見ると、県平均より、「自由な時間」はあるものの、「必要な収入」や「生きがい」、「精神的なゆとり」がなく、「職場での人間関係」や「家族との関係」が良好でないなどと感じています。

図表：世帯収入100~300万円未満の世帯の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

世帯収入が300～500万円未満の世帯の暮らしの実感を見ると、県平均より、「健康」で「必要な収入」や「生きがい」があり、「家族との関係」が良好であるなどと感じています。

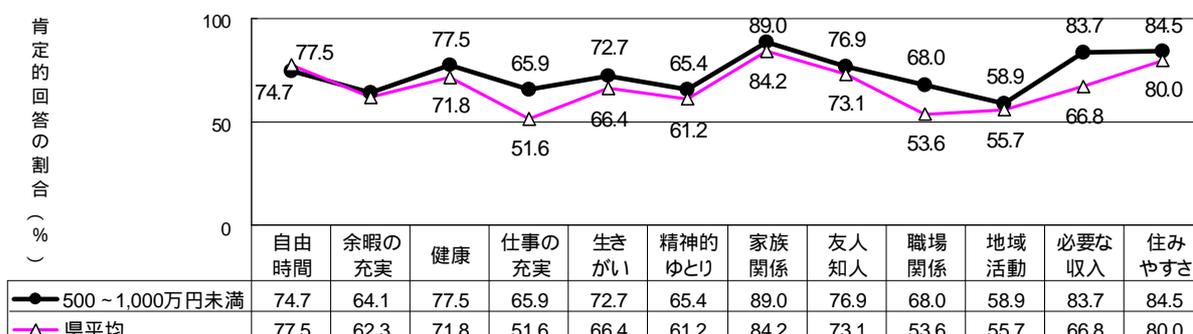
図表：世帯収入300～500万円の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

世帯収入が500～1,000万円未満の世帯の暮らしの実感を見ると、県平均と比べ、「自由な時間」はないものの、「仕事は充実」しており、「必要な収入」や「生きがい」、「精神的なゆとり」があり、「健康」で「職場での人間関係」や「家族との関係」が良好であるなどと感じています。

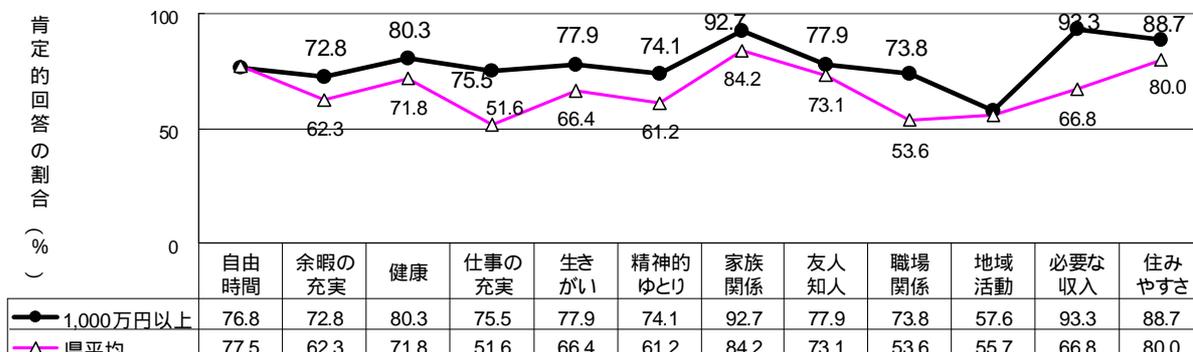
図表：世帯収入500～1,000万円の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

世帯収入が1,000万円以上の世帯の暮らしの実感を見ると、県平均より、「必要な収入」や「生きがい」、「精神的なゆとり」があり、「余暇」や「仕事」は充実しており、「職場での人間関係」や「家族との関係」が良好であるなどと感じています。

図表：世帯収入1,000万円以上の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

幸福感を世帯収入別に見ると、300万円未満の世帯は県平均より低く、500万円以上の世帯は県平均より高くなっています。

世帯収入が300万円未満の世帯では、県平均より、「必要な収入」や「生きがい」、「精神的なゆとり」がなく、「家族との関係」や「職場での人間関係」が良好でないなど感じています。

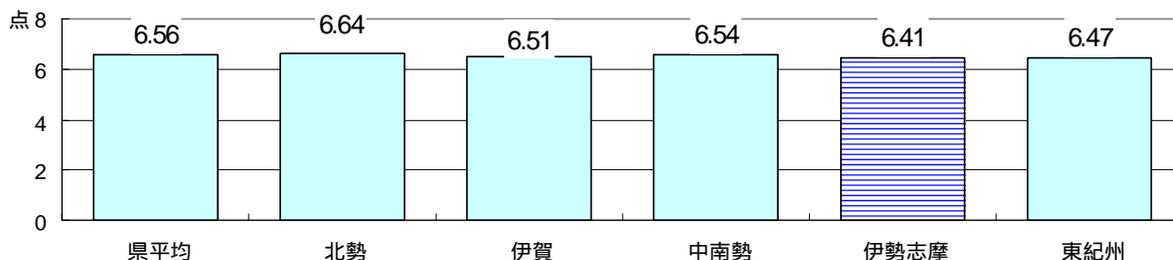
世帯収入が300～500万円未満の世帯では、「健康」で「必要な収入」や「生きがい」があり、「家族との関係」が良好であるなど感じています。

世帯収入が500万円以上の世帯では、「仕事は充実」しており、「必要な収入」や「生きがい」、「精神的なゆとり」があり、「健康」で「職場での人間関係」や「家族との関係」が良好であるなど感じています。

1(7) 地域別

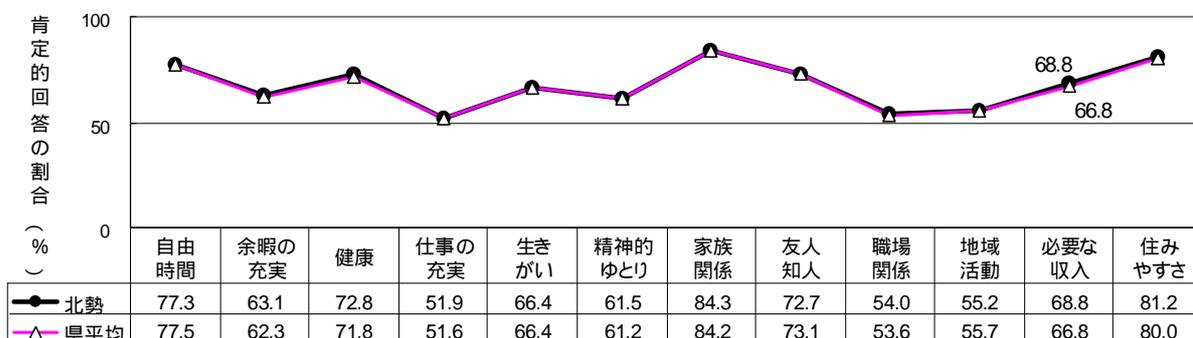
幸福感を地域別に見たところ、伊勢志摩が県平均より低くなっていますが、他の属性と比べ大きな差は見られません。

図表：地域別の幸福感



北勢地域の暮らしの実感を見ると、県平均より、「必要な収入」あるなどと感じています。

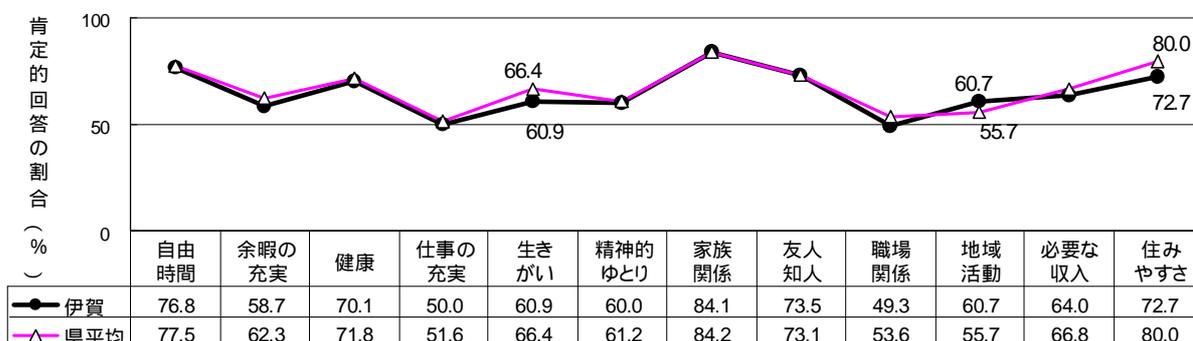
図表：北勢地域の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

伊賀地域の暮らしの実感を見ると、県平均より、「ご近所付き合いや地域での活動」をしている一方、「生きがい」がなく、地域は「住みにくい」などと感じています。

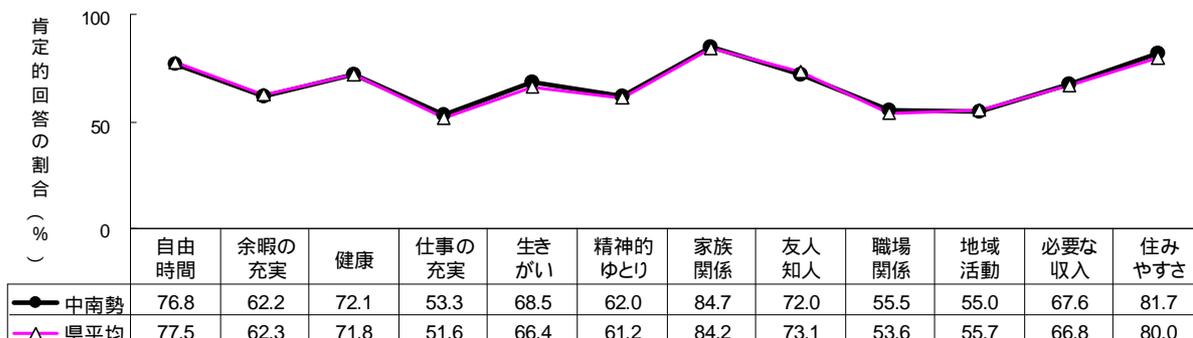
図表：伊賀地域の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

中南勢地域の暮らしの実感を見ると、県平均と同様の結果となっています。

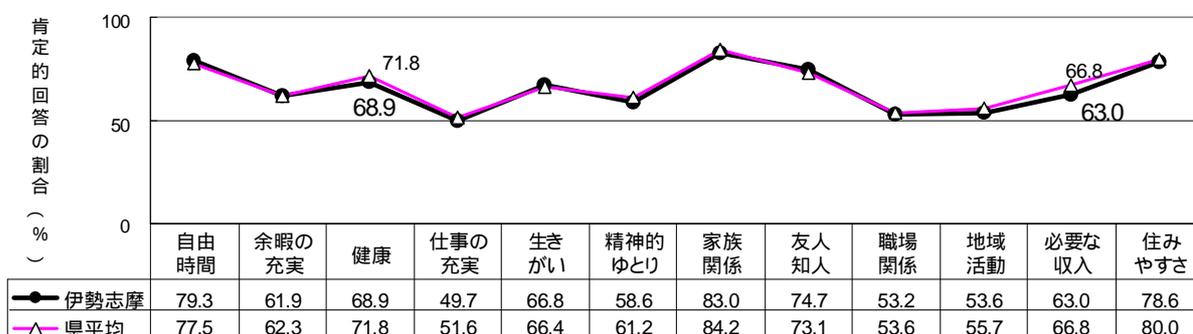
図表：中南勢地域の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

伊勢志摩地域の暮らしの実感は、県平均と比べ、「必要な収入」がなく、「健康」でないなど感じています。

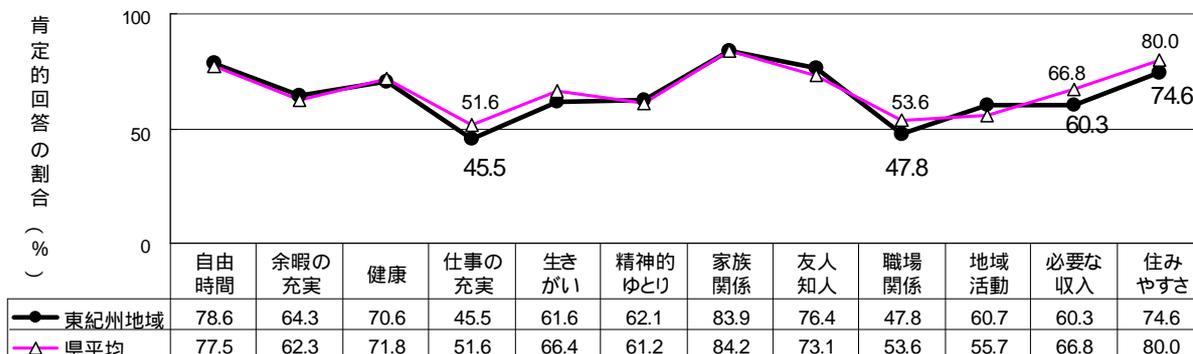
図表：伊勢志摩地域の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

東紀州地域の暮らしの実感は、県平均より、「仕事は充実」しておらず、「職場での人間関係」が良好でなく、「必要な収入」がなく、地域は「住みにくい」など感じています。

図表：東紀州地域の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

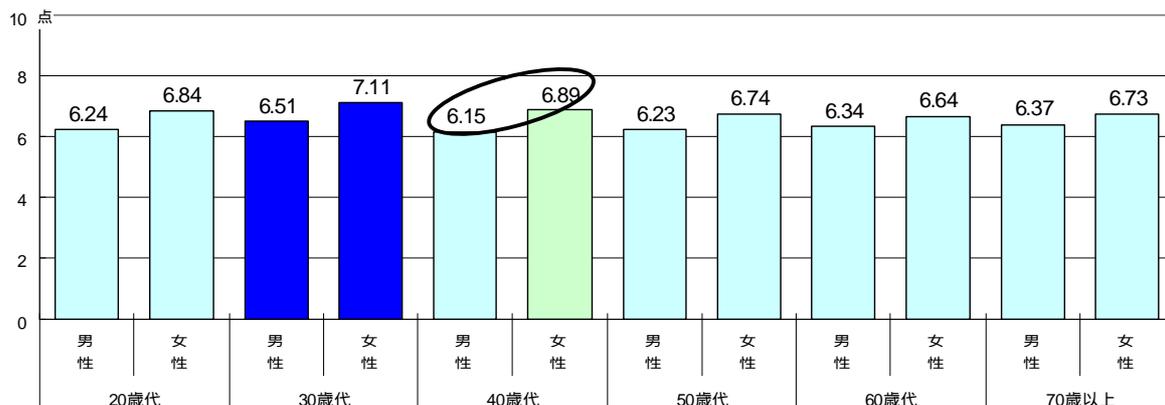
【要点】 地域別の幸福度は、他の属性と比べ大きな差は見られません。

2 二以上の属性によるクロス分析

2(1) 性別×年代別

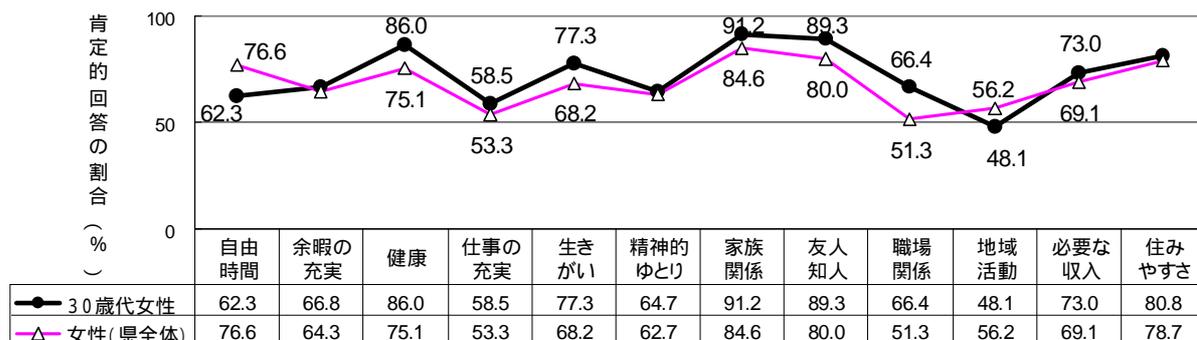
第1章 7ページ関係

性別、年代別の幸福感を見たところ、いずれの年代でも女性が男性より幸福感が高く、もっとも高いのは30歳代女性で、もっとも低いのは40歳代男性となっています。また、男女の差は40歳代がもっとも大きくなっています。



30歳代女性の暮らしの実感を見ると、県全体の女性平均より、「自由な時間」はないと感じているものの、「健康」で「生きがい」があり、「家族との関係」や「職場での人間関係」が良好で、「相談できる友人や知人」がいるなどと感じています。

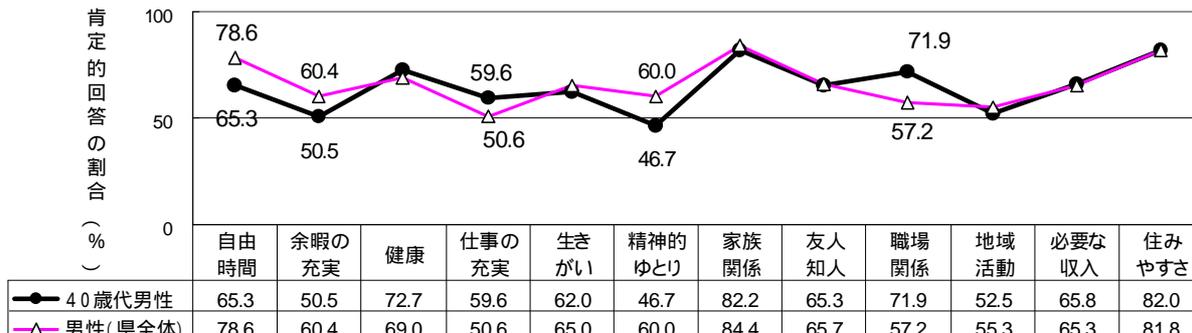
図表：30歳代の女性、結婚別の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

40歳代男性の暮らしの実感を見ると、県全体の男性平均より、「仕事は充実」しており、「職場での人間関係」は良好であると感じているものの、「自由な時間」や「精神的なゆとり」がなく、「余暇は充実」していないなどと感じています。

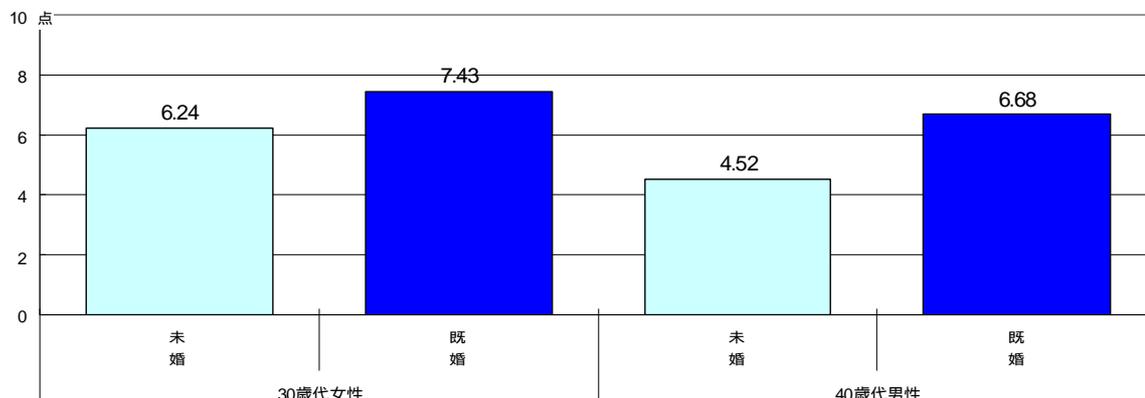
図表：40歳代の男性の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

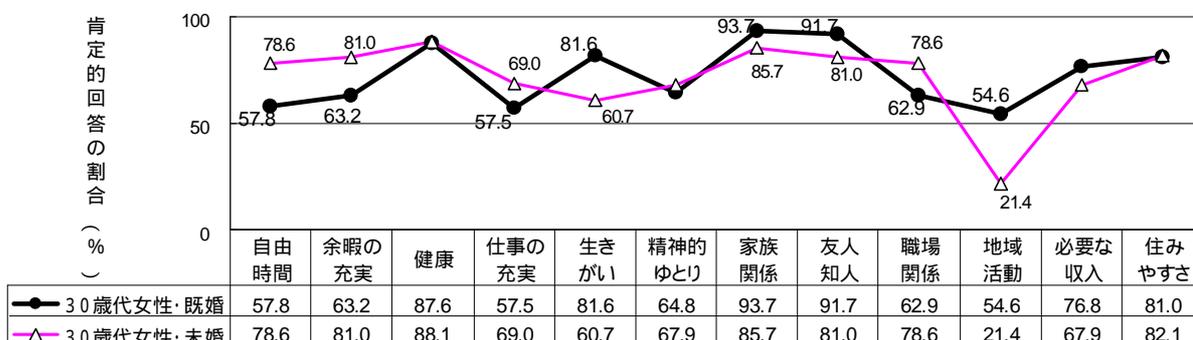
30歳代女性と40歳代男性について、さらに結婚別の幸福感を見ると、いずれも既婚と未婚の差が大きくなっています。

図表：30歳代女性と40歳代男性の結婚別の幸福感



既婚の30歳代女性の暮らしの実感を見ると、未婚の30歳代女性より、「自由な時間」がなく、「余暇は充実」していないと感じているものの、「生きがい」があり、「家族との関係」は良好で、「相談できる友人や知人」がいるなどと感じています。

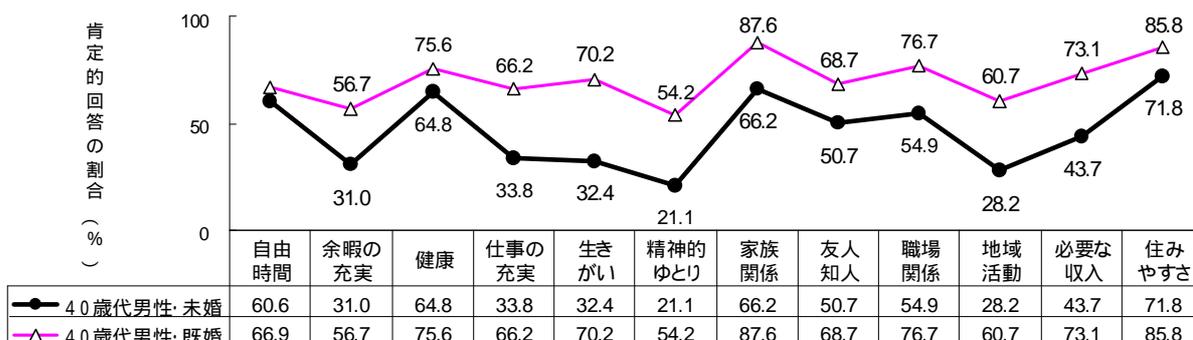
図表：30歳代の女性、結婚別の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

未婚の40歳代男性の暮らしの実感を見ると、既婚の40歳代男性より、「生きがい」、「精神的なゆとり」、「必要な収入」がなく、「家族との関係」や「職場での人間関係」が良好でないと感じ、また「余暇は充実」していないなどと感じています。

図表：40歳代の男性、結婚別の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

いずれの年代でも女性が男性より幸福度が高くなっています。

もっとも幸福度の高い30歳代女性は、県全体の女性平均より「健康」で「生きがい」があり、「家族との関係」や「職場での人間関係」が良好で、「相談できる友人や知人」がいるなどと感じています。

既婚の30歳代女性はさらに幸福度が高く、未婚よりも「生きがい」があり、「家族との関係」は良好で、「相談できる友人や知人」がいるなどと感じています。

もっとも幸福度の低い40歳代男性は、県全体の男性平均より「仕事は充実」し、「職場での人間関係」は良好と感じているものの、「自由な時間」や「精神的なゆとり」がなく、「余暇は充実」していないなどと感じています。

未婚の40歳代男性はさらに幸福度が低く、既婚より、「生きがい」や「精神的なゆとり」、「必要な収入」がなく、「家族との関係」や「職場での人間関係」が良好でないと感じ、また「余暇は充実」していないなどと感じています。

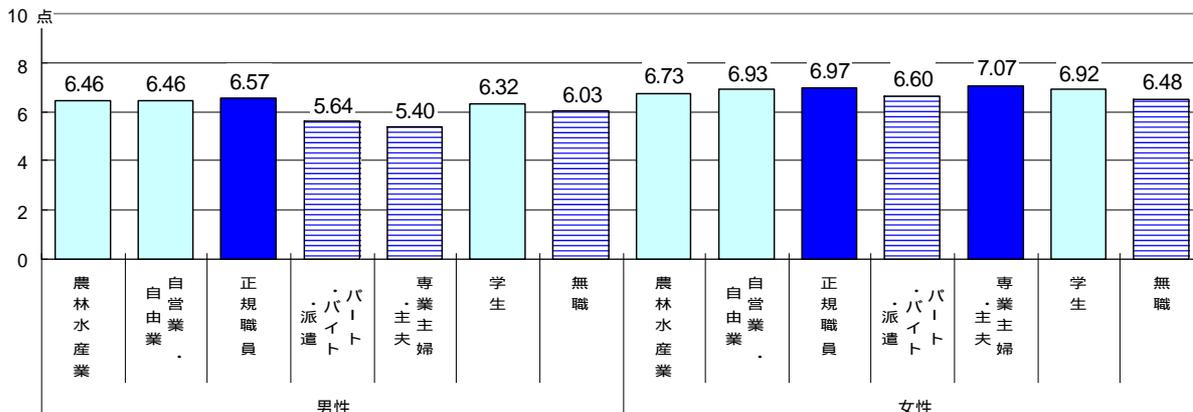
2(2) 性別×職業別

第1章 8ページ関係

性別、職業別の幸福感を見たところ、男性では、正規職員が男性平均よりも幸福感が高く、パート・バイト・派遣と専業主婦(n=10)及び無職の幸福感が低くなっています。

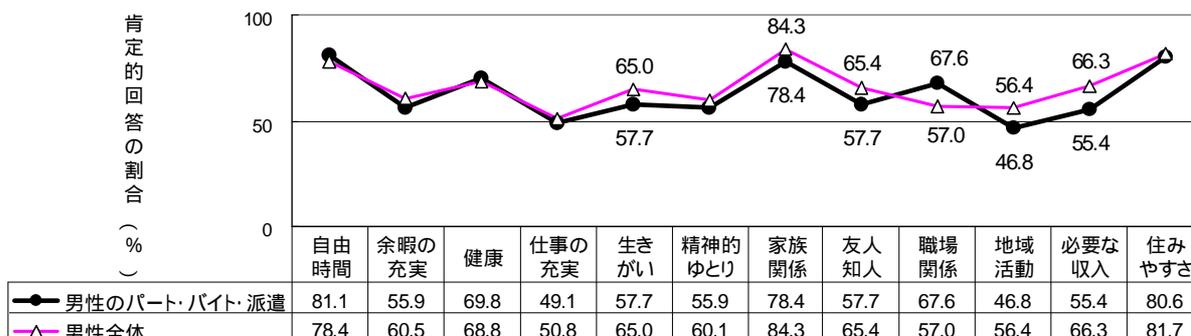
女性では、正規職員と専業主婦が女性平均よりも幸福感が高く、パート・バイト・派遣と無職は低くなっています。パート・バイト・派遣については男女の差が大きくなっています。

図表：性別、職業別の幸福感



幸福感の低い男性のパート・バイト・派遣の暮らしの実感を見ると、男性全体より、「必要な収入」や「生きがい」がなく、「家族との関係」が良好でないなどと感じています。

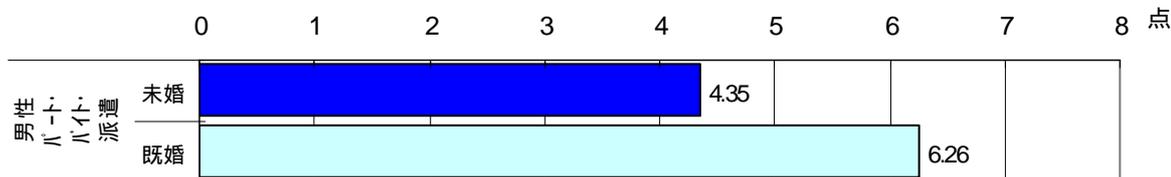
図表：男性のパート・バイト・派遣の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

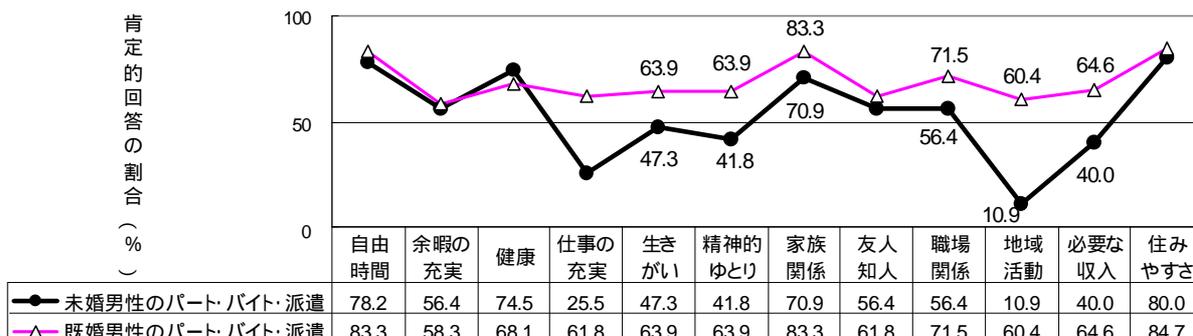
男性のパート・バイト・派遣の幸福感について、さらに結婚別でみると、特に未婚の幸福感が低くなっています。

図表：男性、パート・バイト・派遣の結婚別の幸福感



未婚男性のパート・バイト・派遣の暮らしの実感を見ると、既婚男性のパート・バイト・派遣より、「必要な収入」や「精神的なゆとり」、「生きがい」がなく、「家族との関係」や「職場での人間関係」が良好でないなど感じています。

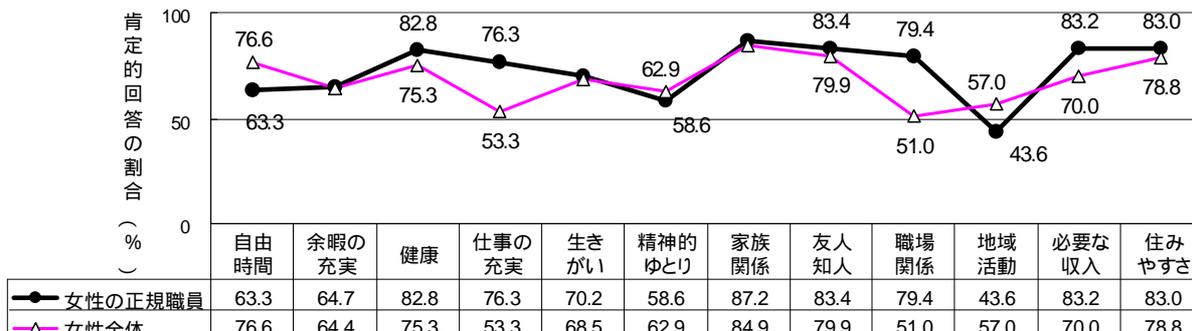
図表：男性、パート・バイト・派遣及び無職の未婚の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

既婚女性の正規職員の暮らしの実感を見ると、女性全体より、「自由な時間」や「精神的なゆとり」はないものの、「健康」で「必要な収入」があり、「相談できる友人や知人」がいるなど感じています。

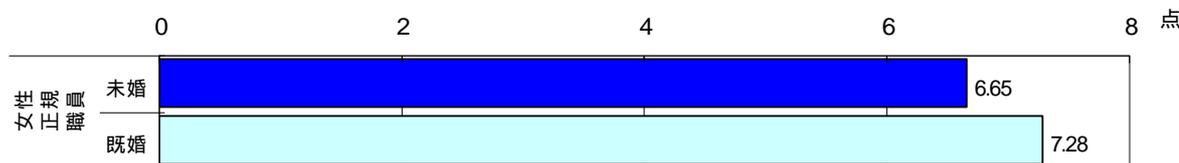
図表：女性正規職員の結婚別の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

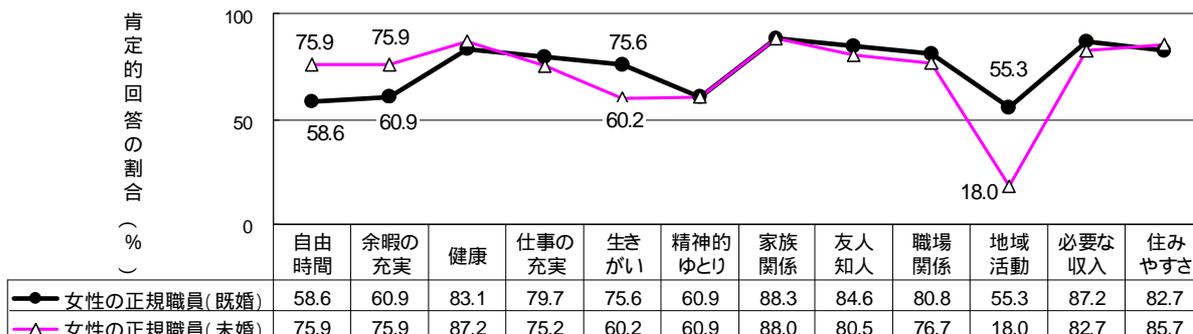
女性の正規職員について、さらに結婚別で幸福感みると、既婚の方が未婚より幸福感が高くなっています。

図表：女性、正規職員の結婚別の幸福感



既婚女性の正規職員の暮らしの実感を見ると、未婚女性の正規職員より、「自由な時間」はなく、「余暇は充実」していないものの、「生きがい」があり、「ご近所付き合いや地域での活動」をしているなど感じています。

図表：女性正規職員の結婚別の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

男性は、パート・バイト・派遣及び無職の幸福感が低くなっています。

男性のパート・バイト・派遣では特に未婚の幸福感が低く、既婚のパート・バイト・派遣より、「必要な収入」や「精神的なゆとり」、「生きがい」がなく、「家族との関係」や「職場での人間関係」が良好でないなど感じています。

女性は、専業主婦及び正規職員の幸福感が高く、パート・バイト・派遣と無職は低くなっています。

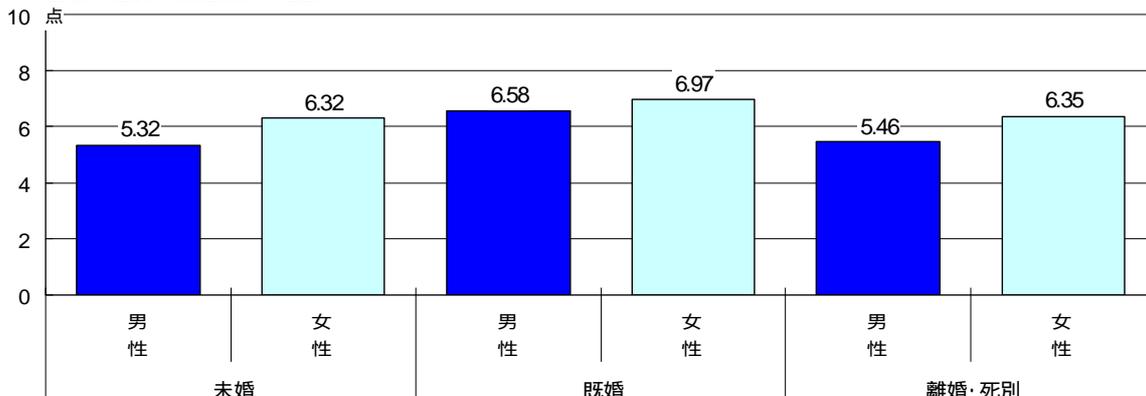
既婚女性の正規職員はより高く、未婚女性の正規職員より、「自由な時間」はなく、「余暇は充実」していないものの、「生きがい」があり、「ご近所付き合いや地域での活動」をしているなど感じています。

2(3) 性別×結婚別

第1章 9ページ関係

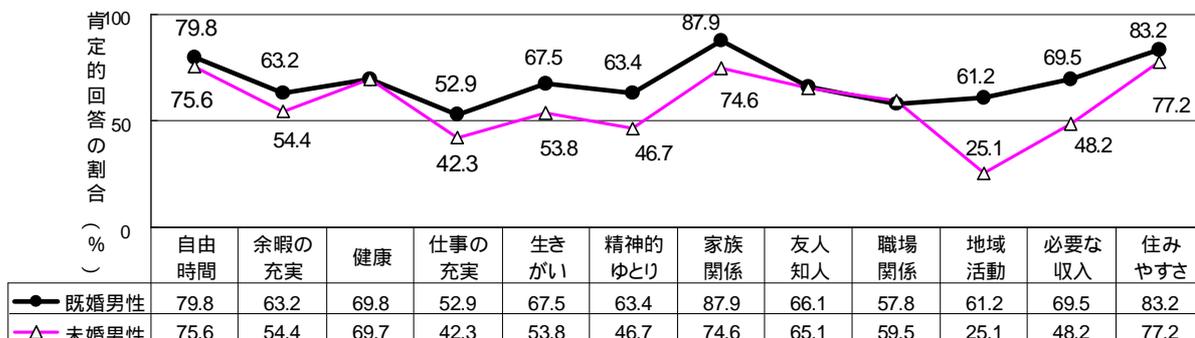
性別、結婚別に幸福感をみたところ、男女とも、未婚、離婚・死別より既婚の方が幸福感は高く、男性の方が結婚による幸福感の差が大きくなっています。

図表：性別、結婚別の幸福感



既婚男性の暮らしの実感を見ると、未婚男性より、「必要な収入」や「精神的なゆとり」、「生きがい」があり、「仕事」や「余暇」が充実し、「家族との関係」が良好であるなどと感じています。

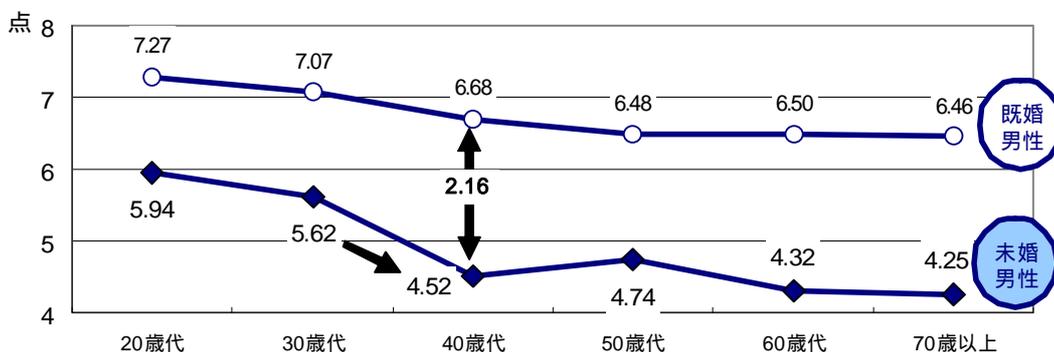
図表：男性、結婚別の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

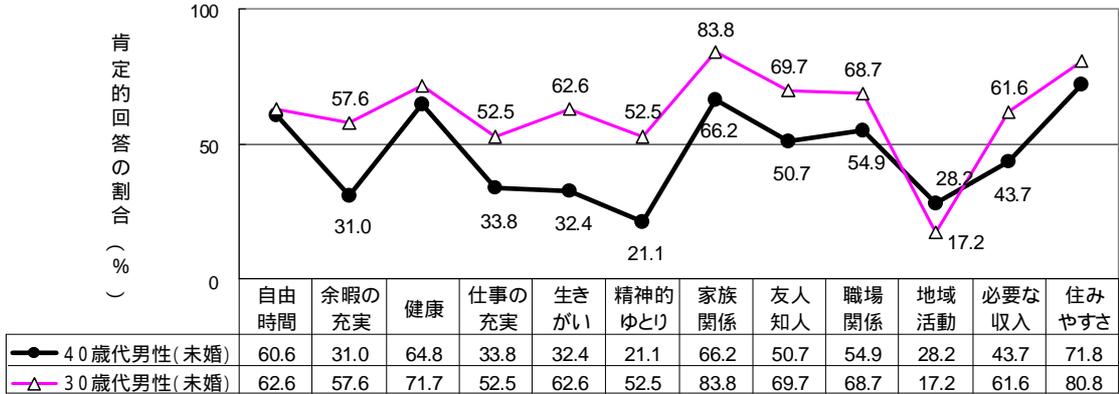
男性の既婚、未婚について、年代別に幸福感をみたところ、いずれの年代も未婚より既婚の方が幸福感は高く、特に未婚は40歳代で大きく低下しており、既婚と未婚における幸福感の差は40歳代が最も大きくなっています。

図表：男性、結婚別、年代別の幸福感



幸福感が大きく下がる未婚男性の40歳代の暮らしの実感を見ると、未婚男性の30歳代より、「精神的なゆとり」、「生きがい」、「必要な収入」がなく、「家族との関係」、「職場での人間関係」が良好でないと感じ、「余暇は充実」していないなどと感じています。

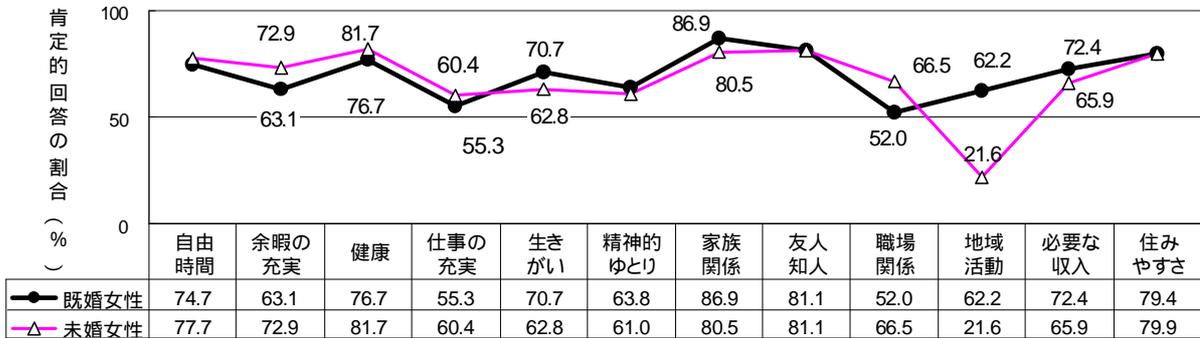
図表：未婚の男性、30歳代及び40歳代の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

既婚女性の暮らしの実感を見ると、未婚女性より、「余暇は充実」していないものの、「ご近所付き合いや地域活動」をしており、「生きがい」や「必要な収入」があり、「家族との関係」が良好であるなどと感じています。

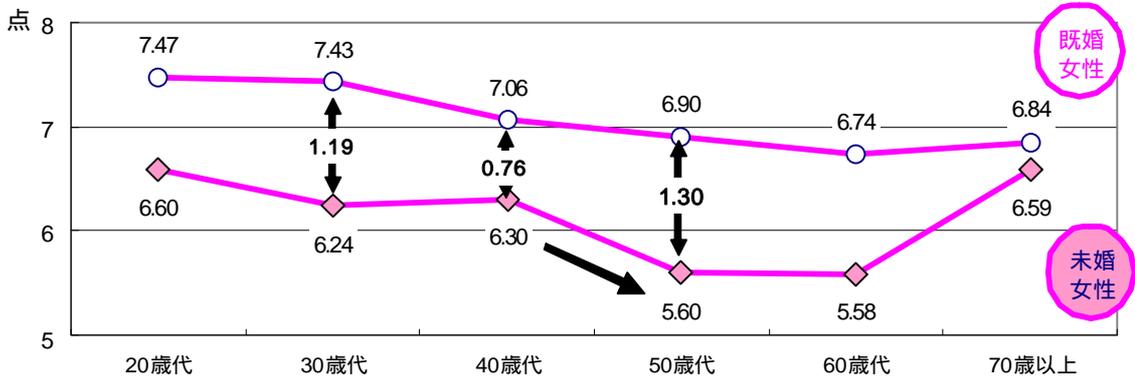
図表：女性、結婚別の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

女性の既婚、未婚について、年代別に幸福感をみたところ、いずれの年代も未婚より既婚の方が幸福感は高く、女性の既婚と未婚における幸福感の差は40歳代で一旦縮小しますが、未婚が50歳代(n=27)で大きく低下しており、50歳代が最も大きくなっています。

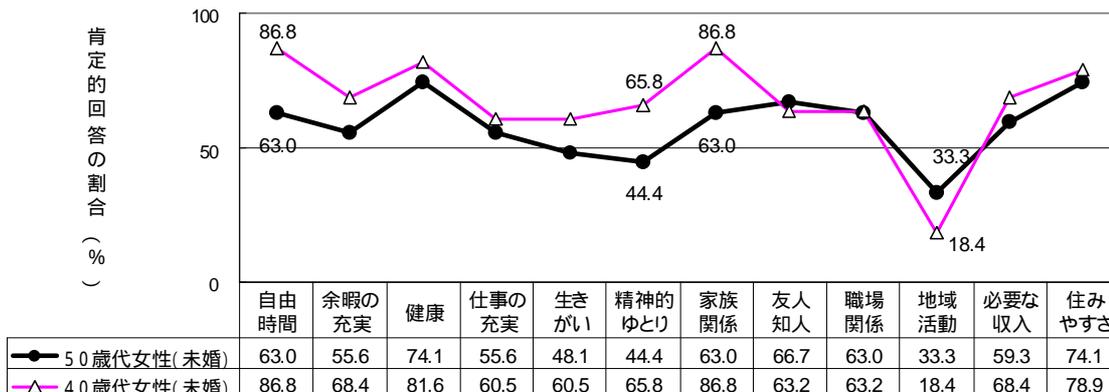
図表：女性、結婚別、年代別の幸福感



70歳以上も既婚の方が平均値は高いが統計的に有意な差はみられません。

幸福度が大きく下がる未婚女性の50歳代(n=27)の暮らしの実感を見ると、未婚女性の40歳代(n=38)より、「ご近所付き合いや地域での活動」をしていると感じていますが、「自由な時間」、「精神的なゆとり」がなく、「家族との関係」は良好でないなどと感じています。

図表：未婚の女性、40歳代及び50歳代の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

男女とも、既婚は未婚より幸福度は高く、男性はその傾向が強くなっています。

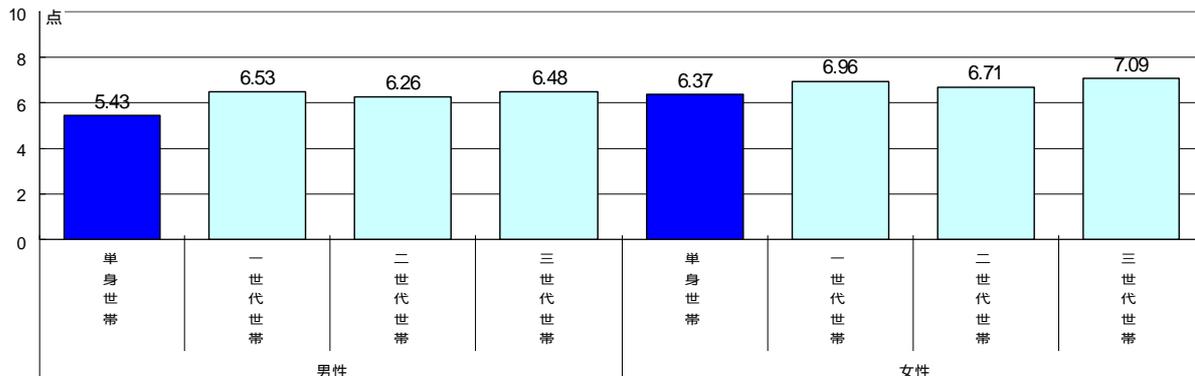
未婚男性は40歳代で幸福度が大きく低下し、未婚男性の30歳代より、「精神的なゆとり」、「生きがい」、「必要な収入」がなく、「家族との関係」、「職場での人間関係」が良好でないと感じ、「余暇は充実」していないなどと感じています。

未婚女性は50歳代で幸福度が大きく低下し、未婚女性の40歳代より、「ご近所付き合いや地域での活動」をしていると感じていますが、「自由な時間」、「精神的なゆとり」がなく、「家族との関係」は良好でないなどと感じています。

2(4) 性別×世帯構成別

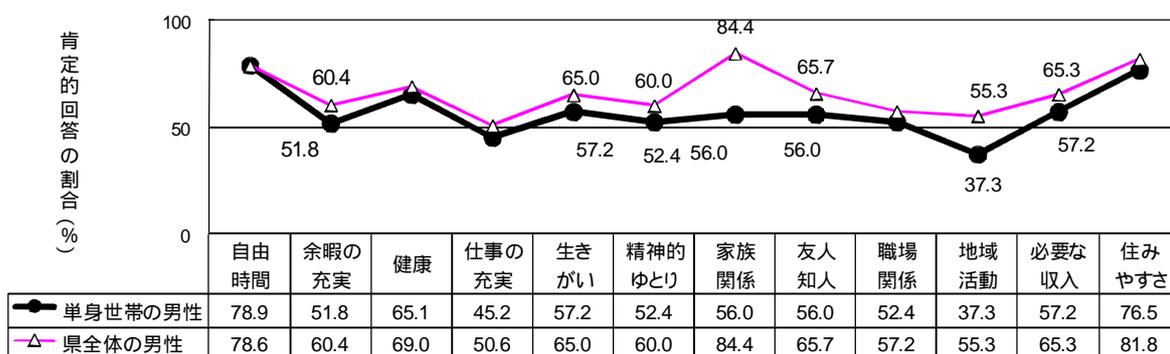
性別、世帯構成別に幸福感を見たところ、男女とも、単身世帯の幸福感が低く、特に男性の単身世帯が低くなっています。

図表：性別、世帯構成別の幸福感



男性の単身世帯の暮らしの実感を見ると、県全体の男性平均より、「家族との関係」が良好でなく、「ご近所付き合いや地域地域での活動」をしていないと感じ、さらに「必要な収入」、「精神的なゆとり」、「生きがい」がなく、「余暇は充実」していないなどと感じています。

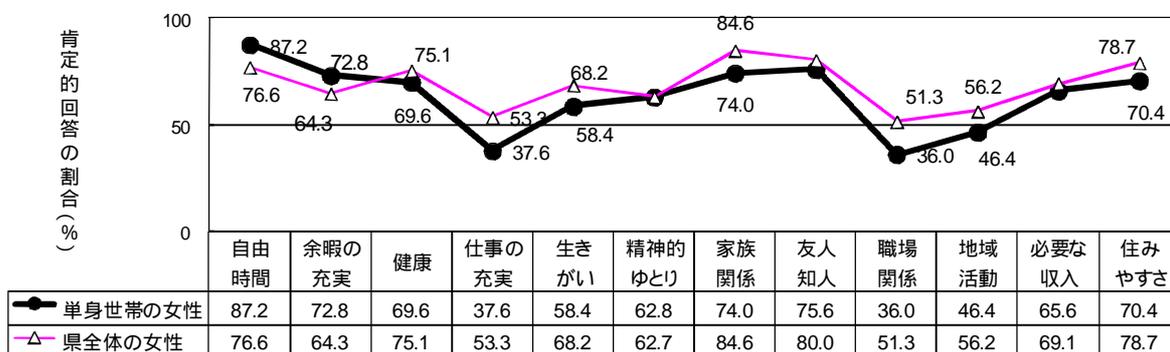
図表：男性の単身世帯の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

女性の単身世帯の暮らしの実感を見ると、県全体の女性平均より、「自由な時間」はあり、「余暇は充実」していると感じる一方、「仕事は充実」しておらず、「家族との関係」や「職場での人間関係」が良好でなく、「生きがい」がないなどと感じています。

図表：女性の単身世帯の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

男女とも単身世帯が他の世帯より幸福感が低く、特に男性の単身世帯が低くなっています。

男性の単身世帯の暮らしの実感を見ると、県全体の男性平均より、「家族との関係」が良好でなく、「ご近所付き合いや地域地域での活動」をしていないと感じ、さらに「必要な収入」、「精神的なゆとり」、「生きがい」がなく、「余暇は充実」していないなどと感じています。

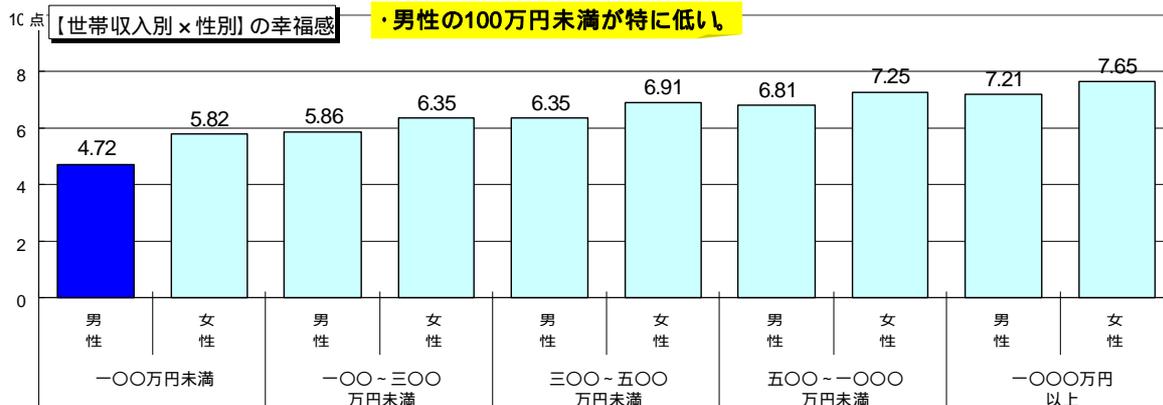
女性の単身世帯の暮らしの実感を見ると、県全体の女性平均より、「自由な時間」はあり、「余暇は充実」していると感じる一方、「仕事は充実」しておらず、「家族との関係」や「職場での人間関係」が良好でなく、「生きがい」がないなどと感じています。

2(5) 性別×世帯収入別

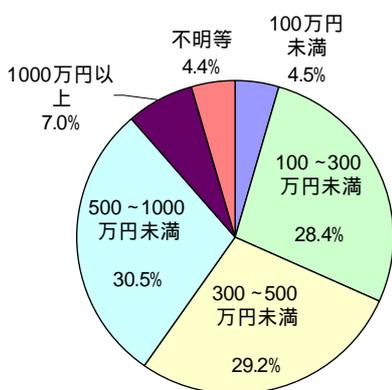
性別、世帯収入別の幸福感を見たところ、男女とも世帯収入が高い方が幸福感が高く、また世帯収入が同じ場合は女性の方が男性より幸福感が高くなっています。

特に、男性の世帯収入が100万円未満の層は低くなっています。

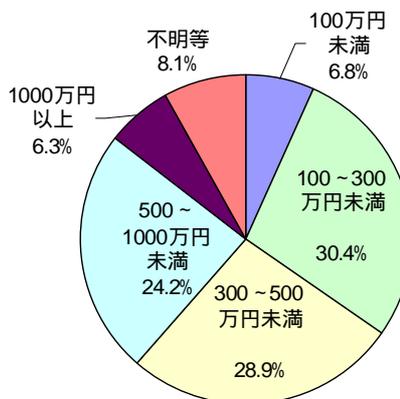
図表：性別、世帯収入別の幸福感



図表：男性2675名の世帯収入別構成比

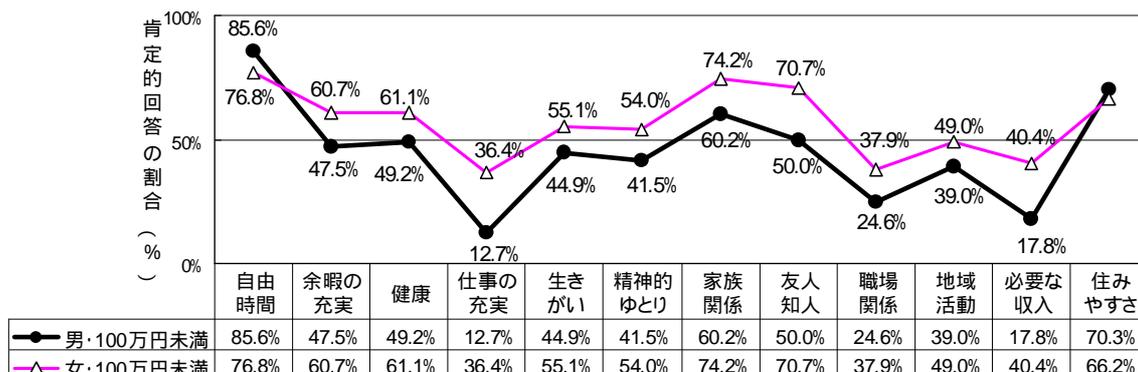


図表：女性2931名の世帯収入別構成比



男性の世帯収入が 100 万円未満の層の暮らしの実感をみると、女性の同じ世帯収入の層より「仕事は充実」しておらず、「必要な収入」がないなどと感じています。

図表：性別、世帯収入別（100万円未満）の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

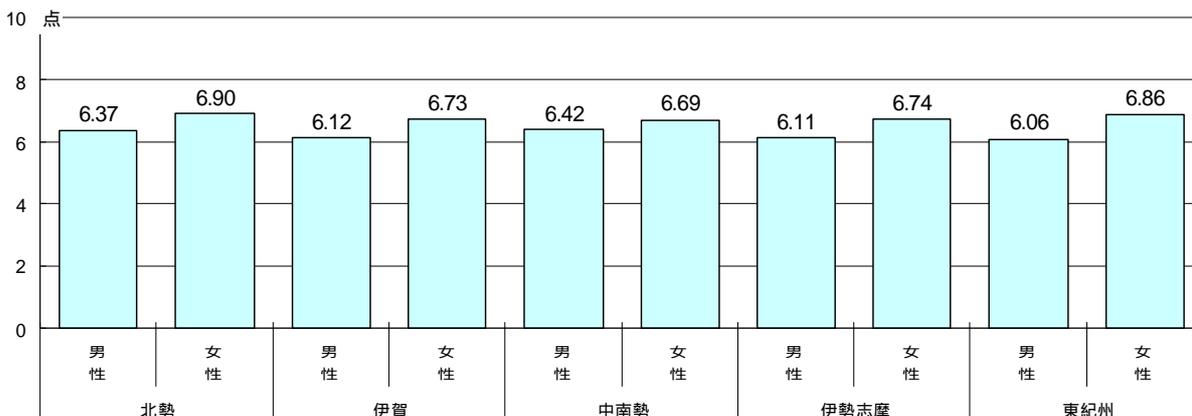
【要点】

男女とも、世帯収入が高い方が幸福感が高くなっています。
 世帯収入が同じ場合には、男性の方が幸福感が低くなっており、特に男性の100万円未満は低くなっています。
 男性の世帯収入が100万円未満の層の暮らしの実感をみると、女性の同じ世帯収入の層より「仕事は充実」しておらず、「必要な収入」がないなどと感じています。

2(6) 性別×地域別

性別、地域別の幸福感を見たところ、いずれの地域でも女性が男性より幸福感が高くなっています。なお、伊勢志摩地域の男性が県全体の男性平均の幸福感よりも低くなっています。

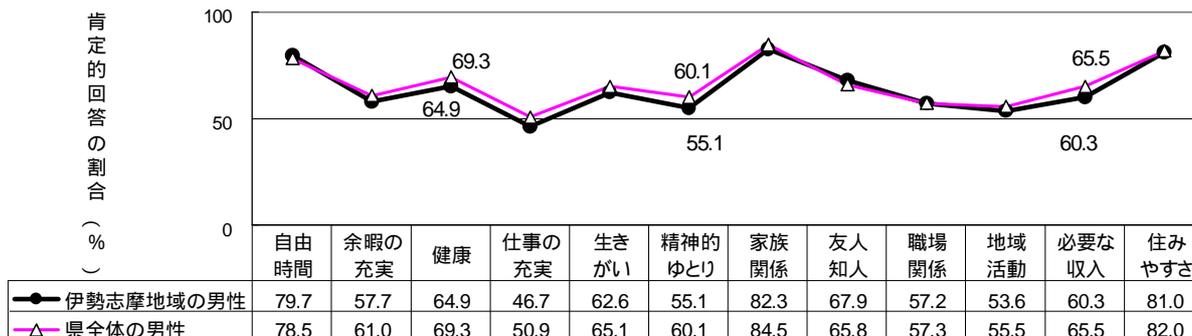
図表：性別、地域別の幸福感



伊賀地域、東紀州地域の男性の平均値も低いですが、県全体の男性平均との間に統計的に有意な差は認められない。

伊勢志摩地域の男性の暮らしの実感を見ると、県全体の男性平均より、「健康」であると感じていないほか、「必要な収入」、「精神的なゆとり」がないなどと感じています。

図表：伊勢志摩地域の男性の幸福感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

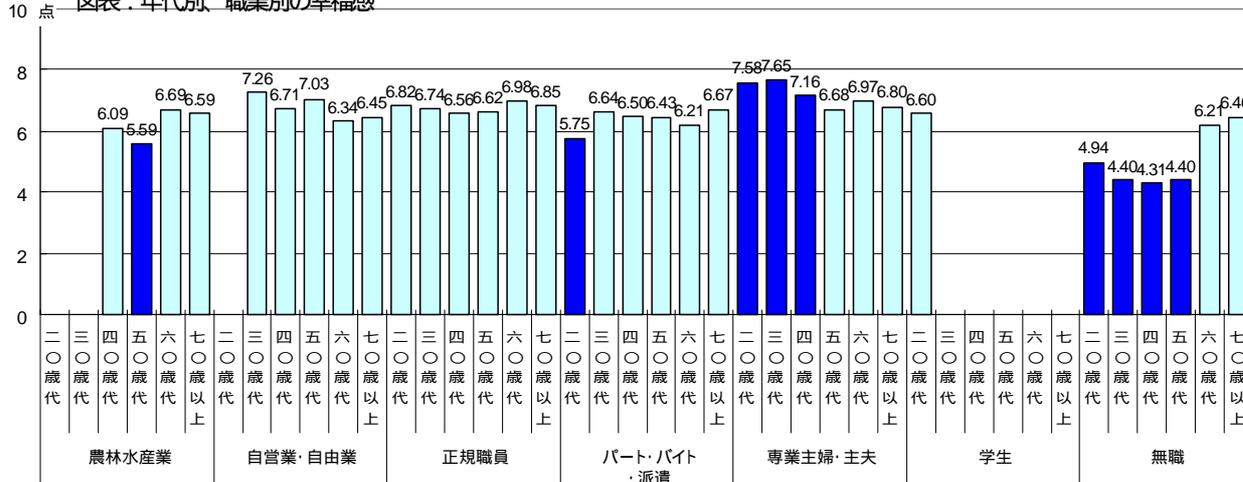
いずれの地域でも女性が男性より幸福感が高くなっています。なお、伊勢志摩地域の男性が県全体の男性平均より幸福感が低く、「健康」であると感じていないほか、「必要な収入」、「精神的なゆとり」がないなどと感じています。

2(7) 年代別×職業別

第1章 10ページ関係

年代別、職業別の幸福感を見たところ、20歳代から40歳代までの専業主婦・主夫が高く、無職の20歳代(n=17)、30歳代(n=20)、40歳代(n=13)、50歳代(n=45)、20歳代のパート・バイト・派遣、及び50歳代の農林水産業(n=29)の幸福感が低くなっています。

図表：年代別、職業別の幸福感

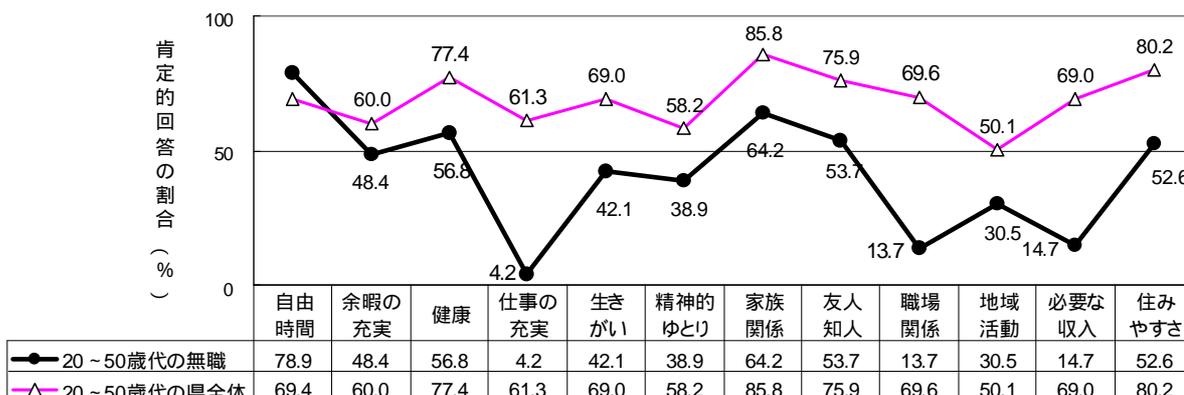


サンプル数10未満の属性区分については非表示とした。

20歳代から50歳代までの無職の暮らしの実感を見ると、20歳代から50歳代までの県平均と比べ、「必要な収入」や「生きがい」、「精神的なゆとり」がなく、「家族との関係」が良好でなく、「相談できる友人や知人」がいないほか、地域は「住みにくい」などと感じています。

なお、20歳代から50歳代までの結婚の状況を見ると、無職は県平均と比べ、未婚の割合が高くなっています。

図表：20歳代から50歳代までの暮らしの実感



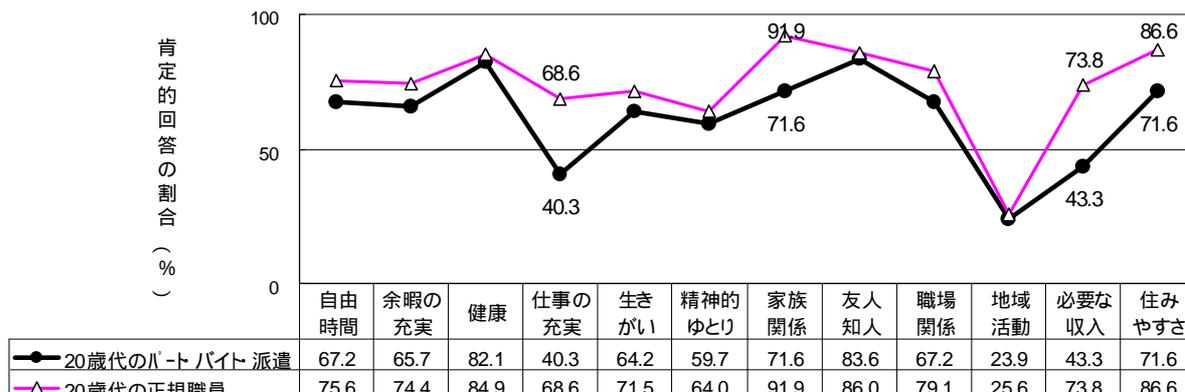
折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

図表：20歳代から50歳代までの結婚の割合



20歳代のパート・バイト・派遣の暮らしの実感を見ると、20歳代の正規職員と比べ、「仕事は充実」しておらず、「必要な収入」はなく、また「家族との関係」は良好でなく、地域は「住みにくい」などと感じています。

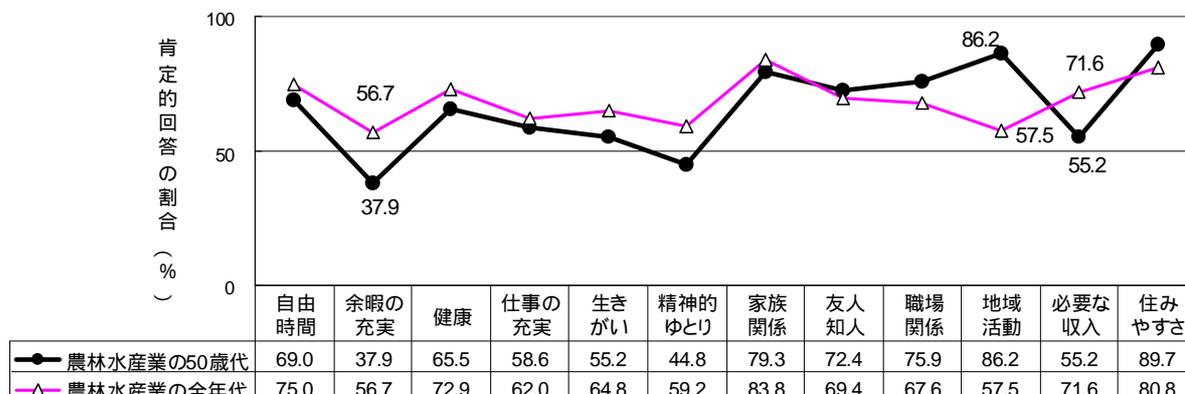
図表：20歳代のパート・バイト・派遣と正規職員の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

50歳代の農林水産業(n=29)の暮らしの実感を見ると、県平均と比べ、「ご近所付き合いや地域での活動」をしている一方、「必要な収入」がなく、「余暇は充実」していないなどと感じています。

図表：農林水産業の50歳代と全年代の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

20歳代から40歳代までの専業主婦・主夫の幸福度が高くなっています。

50歳代までの無職は幸福度が低く、「必要な収入」や「生きがい」、「精神的なゆとり」がなく、「家族との関係」が良好でなく、「相談できる友人や知人」がいないほか、地域は「住みにくい」などと感じています。

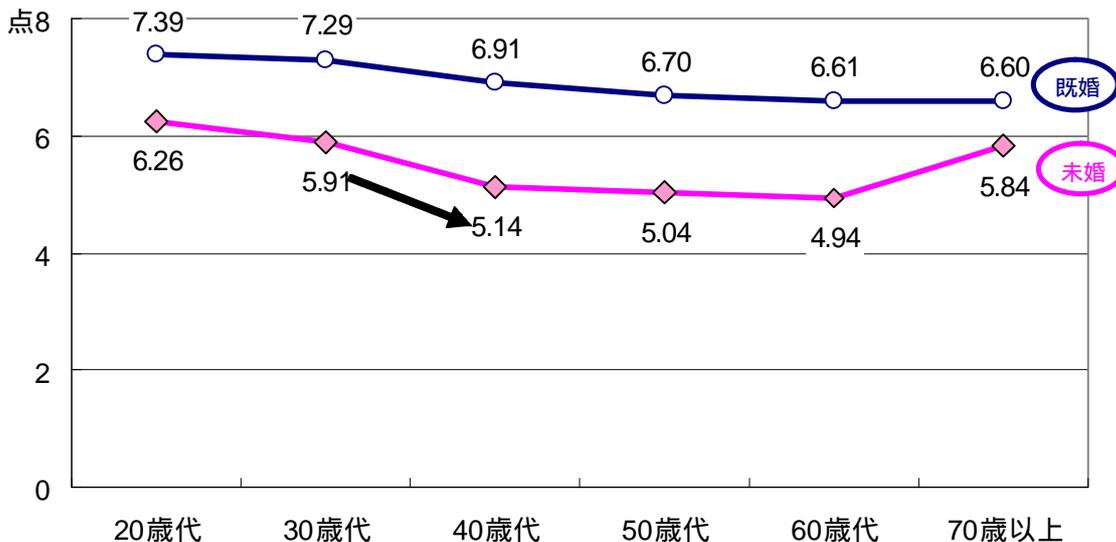
20歳代のパート・バイト・派遣の幸福度は低く、正規職員より「仕事は充実」しておらず、「必要な収入」はなく、また「家族との関係」は良好でなく、地域は「住みにくい」などと感じています。

50歳代の農林水産業は幸福度が低く、「ご近所付き合いや地域での活動」をしている一方、「必要な収入」がなく、「余暇は充実」していないなどと感じています。

2(8) 年代別×結婚別

年代別、結婚別の幸福感をみたところ、全ての年代で既婚は未婚より幸福感が高い傾向にあります。未婚では40歳代にかけて大きく低下しています。

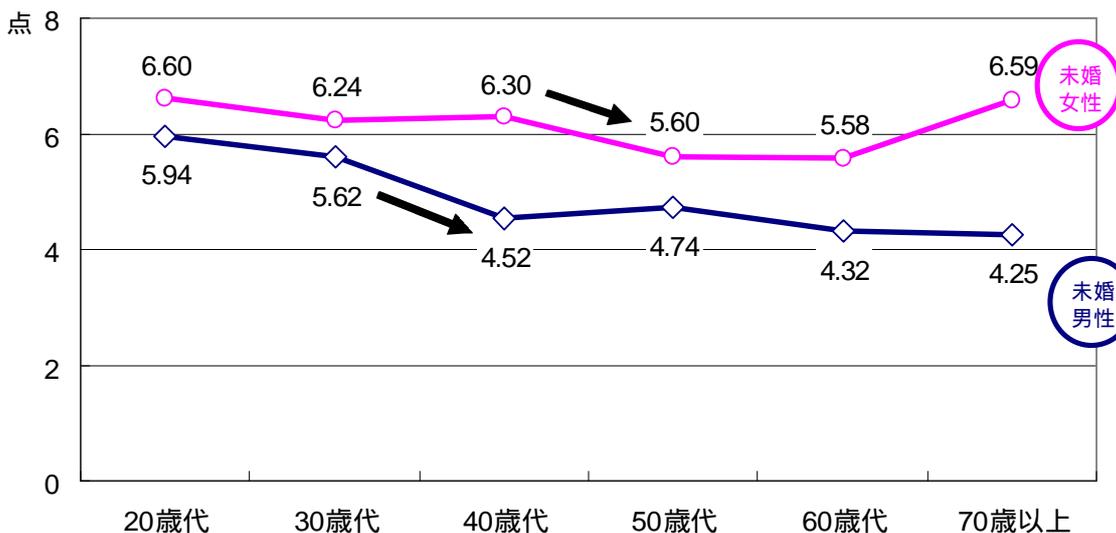
図表：年代別、結婚別の幸福感



70歳代以上の既婚と未婚の差については統計的に有意とは言えません。

未婚について、年代別と性別で幸福感をみたところ、男性は40歳代で、未婚の女性は50歳代で、それぞれ幸福感の低下が見られます。

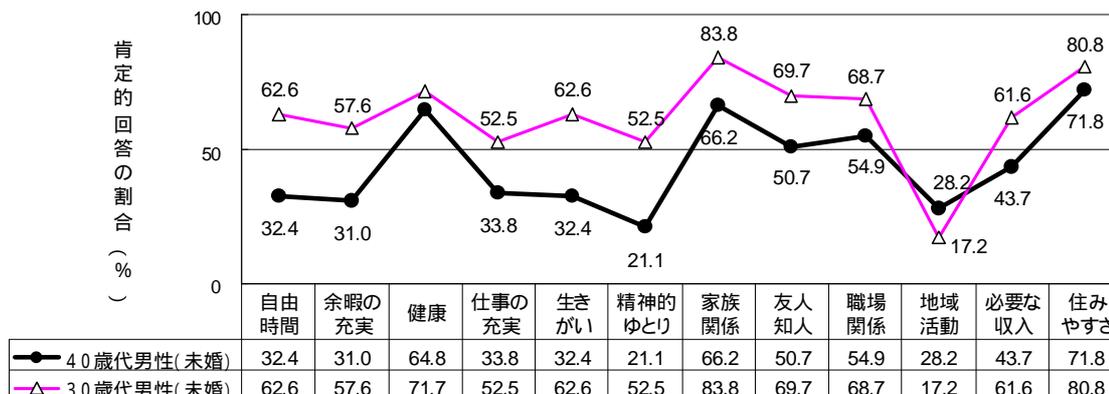
図表：未婚の年代別、男女別の幸福感



女性の70歳以上は60歳代より高くなっていますが、その差は統計的に有意とは言えません。

幸福度が大きく下がる未婚男性の40歳代の暮らしの実感を見ると、未婚男性の30歳代より、「精神的なゆとり」、「生きがい」、「必要な収入」がなく、「家族との関係」、「職場での人間関係」が良好でないと感じ、「余暇は充実」していないなどと感じています。

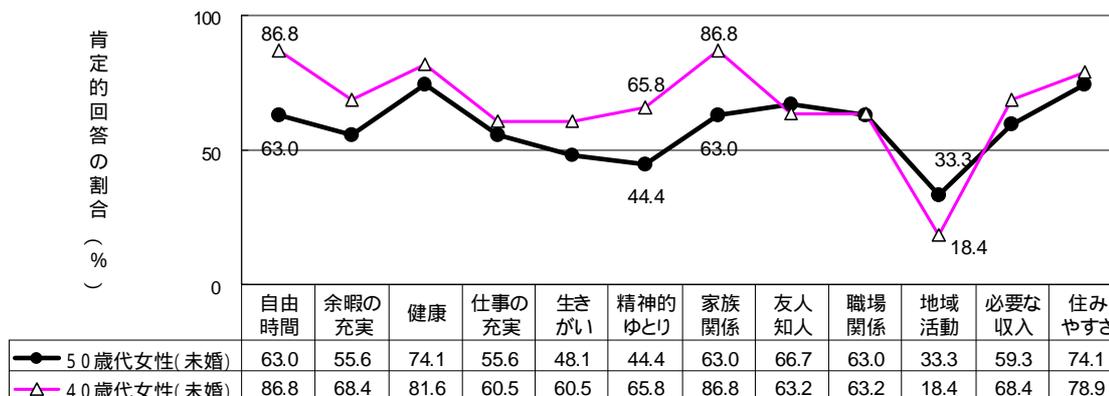
図表：未婚の男性、30歳代及び40歳代の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

幸福度が大きく下がる未婚女性の50歳代(n=27)の暮らしの実感を見ると、未婚女性の40歳代(n=38)より、「ご近所付き合いや地域での活動」をしていると感じていますが、「自由な時間」、「精神的なゆとり」がなく、「家族との関係」は良好でないなどと感じています。

図表：未婚の女性、40歳代及び50歳代の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

各年代とも未婚より既婚の方が幸福度が高くなっています。

未婚の場合、男性は40歳代で幸福度が大きく低下し、未婚男性の30歳代より、「精神的なゆとり」、「生きがい」、「必要な収入」がなく、「家族との関係」、「職場での人間関係」が良好でないと感じ、「余暇は充実」していないなどと感じています。

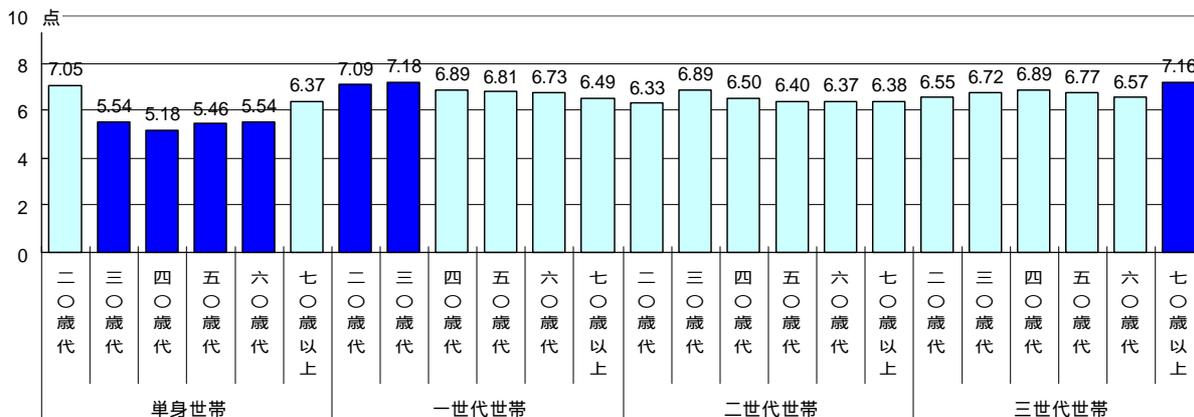
未婚女性については、50歳代で幸福度が大きく低下し、未婚女性の40歳代より、「ご近所付き合いや地域での活動」をしていると感じていますが、「自由な時間」、「精神的なゆとり」がなく、「家族との関係」は良好でないなどと感じています。

2(9) 年代別×世帯構成別

第1章 11ページ関係

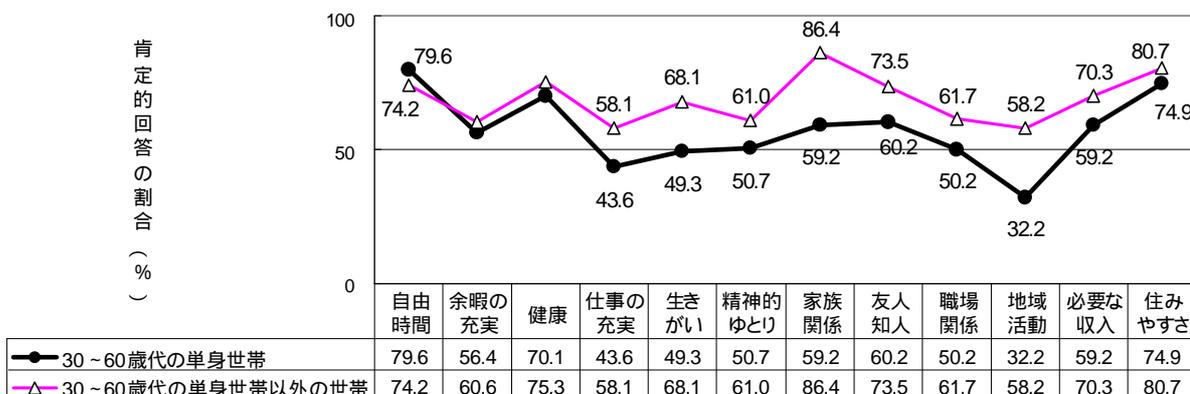
年代別、世帯構成別の幸福感を見たところ、30歳代から60歳までの単身世帯の幸福感が低くなっています。また、20歳代から30歳の一世代世帯や70歳以上の三世代世帯などが高くなっています。

図表：年代別、世帯構成別の幸福感



30歳代から60歳代の単身世帯の暮らしの実感を見ると、同年代の単身世帯以外の世帯よりも、「自由な時間」はあるものの、「家族との関係」や「職場での人間関係」が良好でなく、「必要な収入」や「生きがい」がなく、「ご近所付き合いや地域での活動」をしていないなどと感じています。

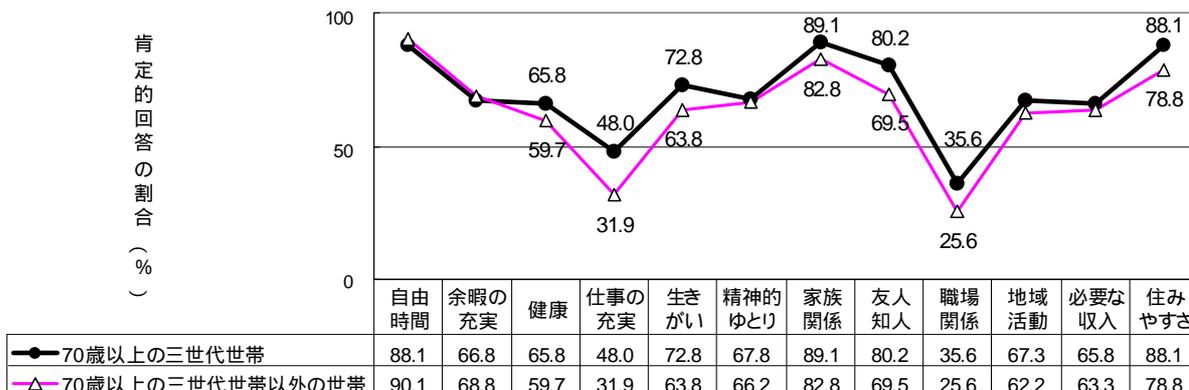
図表：30歳代から60歳代の単身世帯とそれ以外の世帯の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

70歳以上の三世代世帯の暮らしの実感を見たところ、三世代世帯以外の世帯より、「健康」で地域は「住みやすく」、「家族との関係」が良好で、「相談できる友人や知人」がおり、「生きがい」があるなどと感じています。

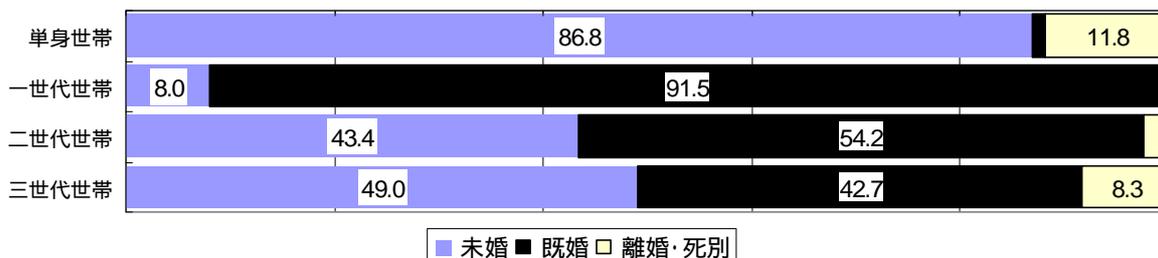
図表：70歳以上の三世代世帯とそれ以外世帯の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

20歳代から30歳代について、世帯構成毎に結婚別の割合を見ると、幸福度の高い一世代世帯は既婚がほとんどを占めています。

図表：20歳代から30歳代の一世代世帯とそれ以外世帯の暮らしの実感



【要点】

30歳代から60歳代の単身世帯は幸福度が低く、単身世帯以外の世帯より「自由な時間」はあるものの、「家族との関係」や「職場での人間関係」が良好でなく、「必要な収入」や「生きがい」がなく、「ご近所付き合いや地域での活動」をしていないなどと感じています。

70歳以上の三世代世帯の幸福度は高く、三世代世帯以外の世帯より、「健康」で地域は「住みやすく」、「家族との関係」が良好で、「相談できる友人や知人」がおり、「生きがい」があるなどと感じています。

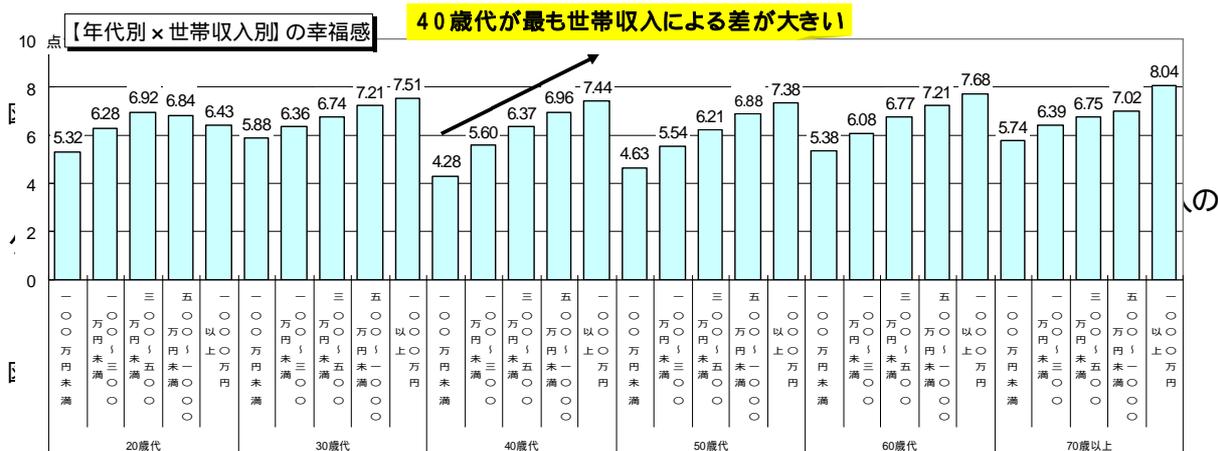
20歳代から30歳代の一世代世帯の幸福度は高くなっています。また、20~30歳代について、世帯構成毎に結婚別の割合を見ると、幸福度の高い一世代世帯はほとんど既婚が占めています。

2(10)年代別×世帯収入別

第1章 12ページ関係

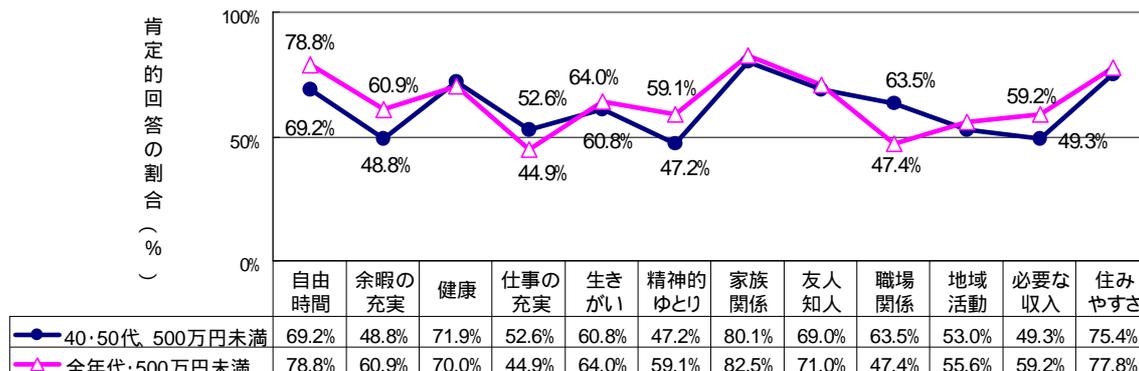
年代別の幸福感を世帯収入別に見たところ、40歳代、50歳代は世帯収入による幸福感の差が大きくなっています。

図表：年代別、世帯収入別の幸福感



世帯収入500万円未満における40歳代と50歳代の暮らしの実感は、同じ世帯収入の全世代より、「自由な時間」や「精神的なゆとり」、「必要な収入」がなく、「余暇は充実」していないなどを感じている一方、「仕事は充実」しており「職場での人間関係」は良好であるなどと感じています。

図表：年代別(40歳代・50歳代)世帯収入別(500万円未満)の暮らしの実感



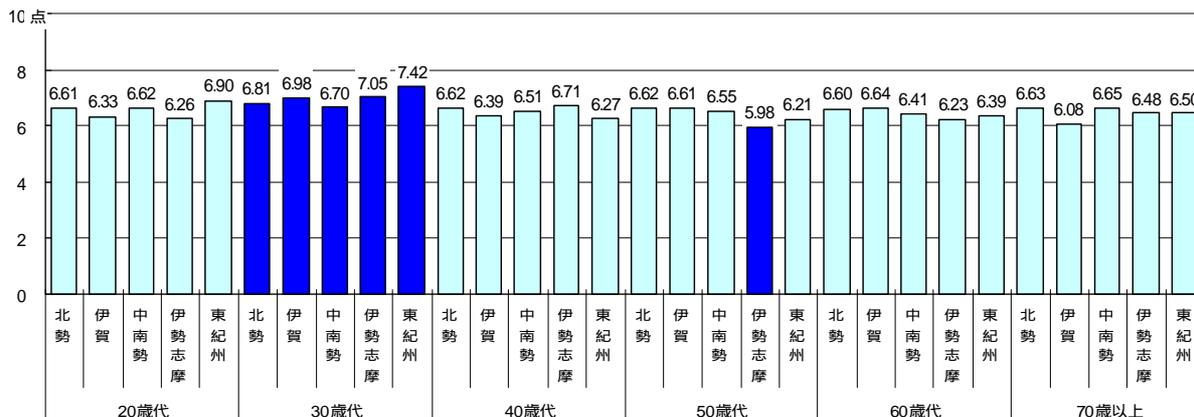
折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】
 40歳代、50歳代は世帯収入による幸福感の差が大きくなっています。
 また、世帯収入500万円未満における40代と50代の暮らしの実感は、同じ世帯収入の全世代より、「自由な時間」や「精神的なゆとり」、「必要な収入」がなく、「余暇は充実」していないなどを感じている一方、「仕事は充実」しており「職場での人間関係」は良好であるなどと感じています。

2(11)年代別×地域別

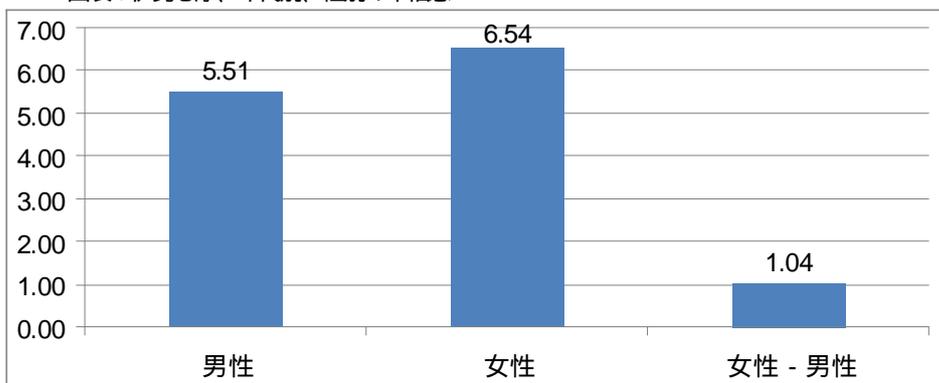
年代別、地域別の幸福度を見たところ、全地域とも30歳代が最も高くなっています。また、伊勢志摩地域の50歳代が県内で最も低くなっています。

図表：地域別、年代別の幸福度



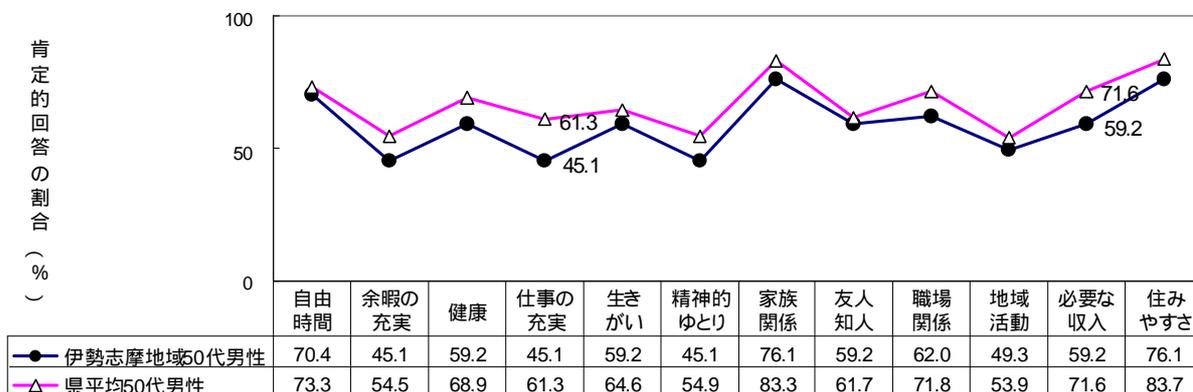
伊勢志摩地域の50歳代の幸福度を性別で見ると、男性が5.51、女性が6.54であり、性別による差が1.04と大きくなっています

図表：伊勢志摩、年代別、性別の幸福度



伊勢志摩地域の50歳代男性の暮らしの実感を見ると、50歳代男性の県平均より、「仕事は充実」しておらず、「必要な収入」がないなどと感じています。

図表：伊勢志摩、50歳代、男性の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

全地域とも、幸福感は30歳代が最も高くなっています。

地域別で見ると、伊勢志摩地域の50歳代が最も低くなっています。

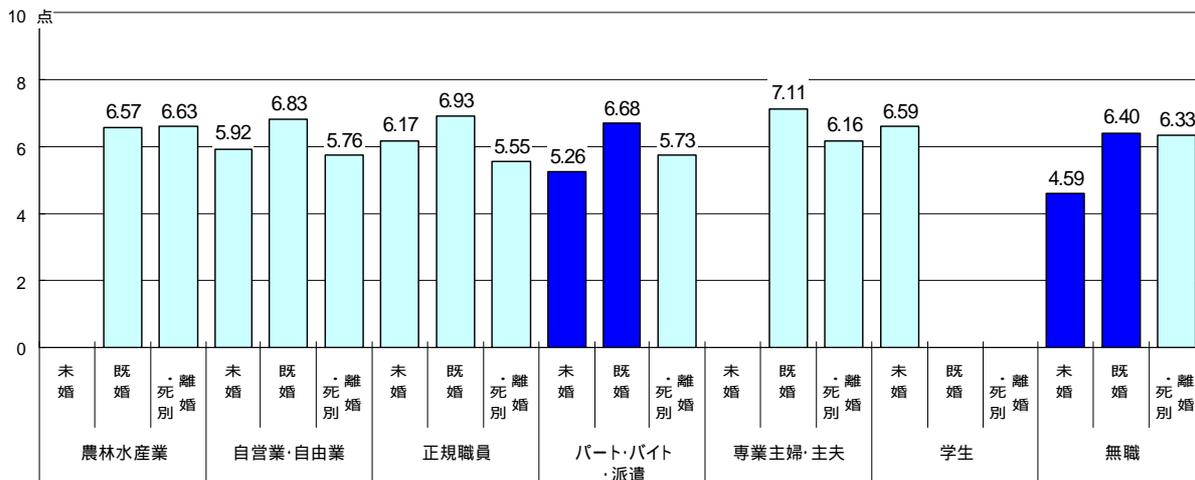
伊勢志摩地域の50歳代男性の暮らしの実感を見ると、50歳代男性の県平均より、「仕事は充実」しておらず、「必要な収入」がないなどと感じています。

2(12) 職業別×結婚別

第1章 13ページ関係

職業別、結婚別の幸福感について見たところ、いずれの職業も未婚が既婚より低く、特に、パート・バイト・派遣及び無職で差が大きくなっています。

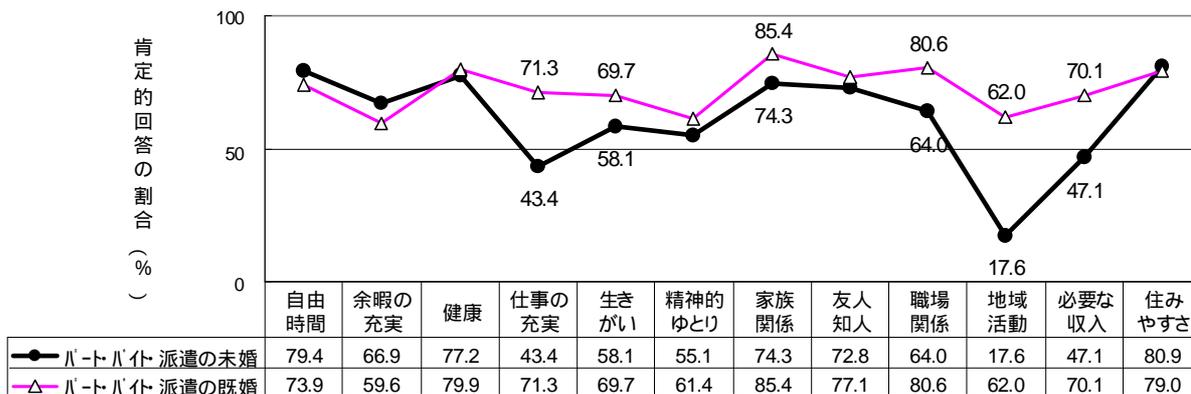
図表：職業別、結婚別の幸福感



未婚の農林水産業 (n=7)、専業主婦・主婦(n=3)及び学生の既婚(n=1)は非表示とした。
農林水産業の離婚・死別 (n=16) は既婚より高いものの、統計的に有意な差は認められない。

未婚のパート・バイト・派遣の暮らしの実感を見ると、既婚より、「ご近所付き合いや地域での活動」をしておらず、「必要な収入」や「生きがい」がなく、さらに「家族との関係」や「職場での人間関係」は良好でなく、「仕事は充実」していないなど感じています。

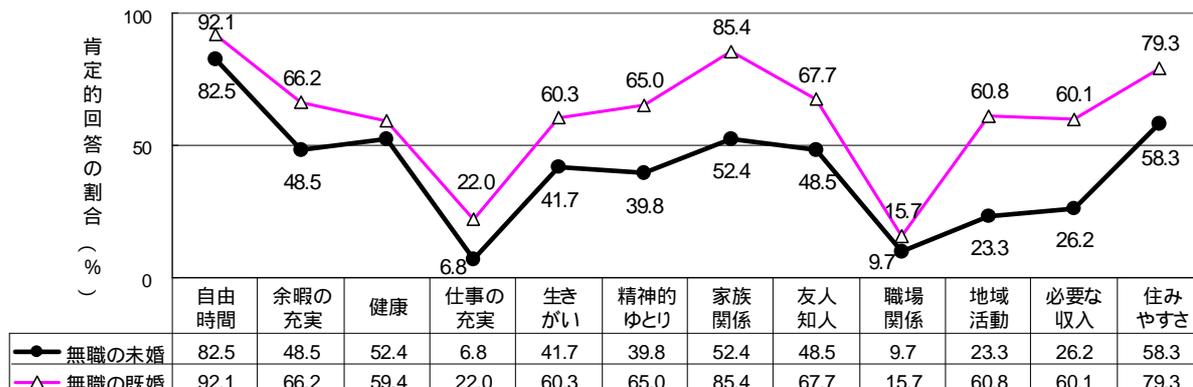
図表：パート・バイト・派遣の結婚別の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

無職の未婚の暮らしの実感を見ると、既婚より、「家族との関係」は良好でなく、「ご近所付き合いや地域での活動」をしておらず、また「必要な収入」や「精神的なゆとり」、「生きがい」がなく、地域は「住みにくい」と感じています。

図表：無職の結婚別の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

いずれの職業においても、未婚は既婚より幸福感が低く、中でも、パート・バイト・派遣及び無職の未婚が低くなっています。

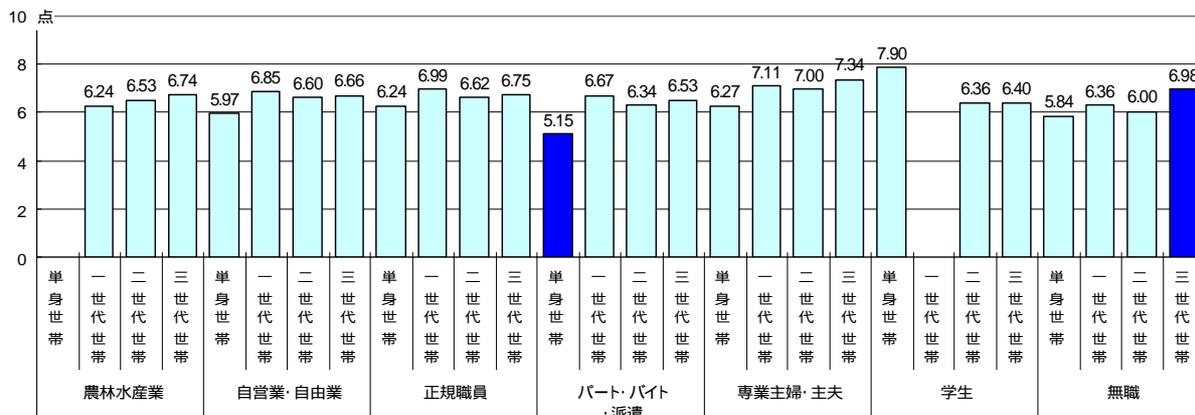
未婚のパート・バイト・派遣は、既婚より、「ご近所付き合いや地域での活動」をしておらず、「必要な収入」や「生きがい」がなく、さらに「家族との関係」や「職場での人間関係」は良好でなく、「仕事は充実」していないなどと感じています。

無職の未婚は、既婚より、「家族との関係」は良好でなく、「ご近所付き合いや地域での活動」をしておらず、また「必要な収入」や「精神的なゆとり」、「生きがい」がなく、地域は「住みにくい」と感じています。

2(13) 職業別×世帯構成別

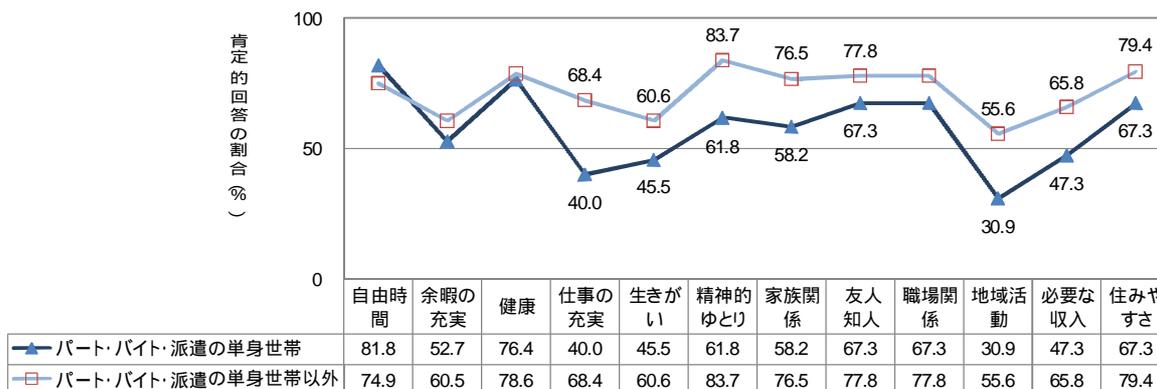
職業別、世帯構成別の幸福感をみると、特に単身世帯のパート・バイト・派遣が低くなっています。

図表：職業別、世帯構成別の幸福感



パート・バイト・派遣の単身世帯以外の暮らしの実感をみると、パート・バイト・派遣の単身世帯より、「仕事が充実」し、「生きがい」や「精神的ゆとり」がある、などと感じています。

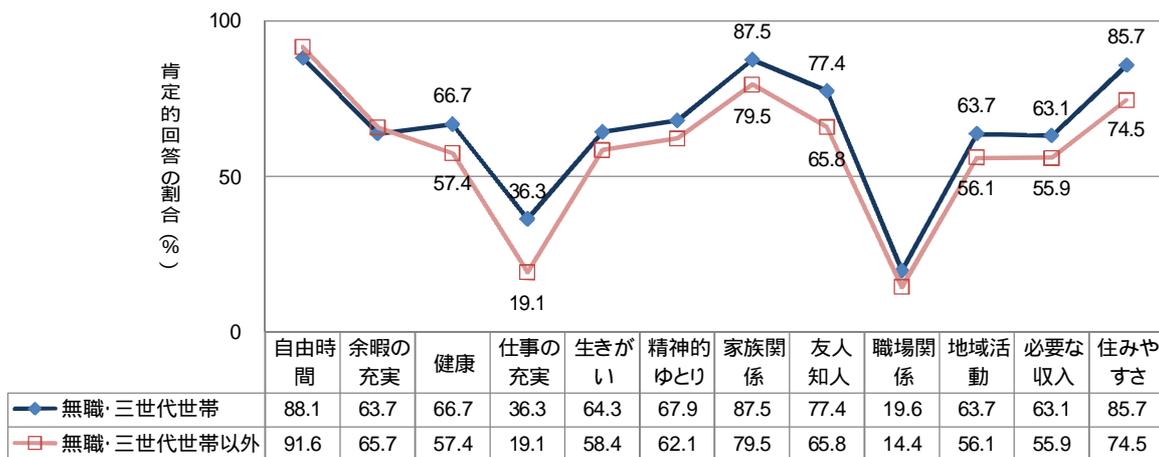
図表：パート・バイト・派遣、性別、世帯構成別の幸福感



折れ線グラフの中に数字のあるものは、肯定的の回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

無職の三世帯世帯の暮らしの実感をみると、無職の三世帯世帯以外より、「健康」であり、「家族との関係」は良好で、「相談できる友人や知人」がいる、などと感じています。

図表：無職、三世帯世帯とそれ以外世帯の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字のあるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

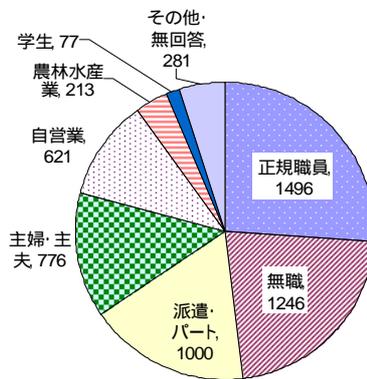
【要点】

パート・バイト・派遣の単身世帯以外の暮らしの実感をみると、パート・バイト・派遣の単身世帯より、「仕事が充実」しており、「生きがい」があると感じています。

無職の三世帯世帯の暮らしの実感をみると、無職の三世帯世帯以外より、「健康」であると感じ、「家族との関係」は良好で「相談できる友人や知人」がいると感じています。

2(14) 職業別×世帯収入別

図表：職業別標本数

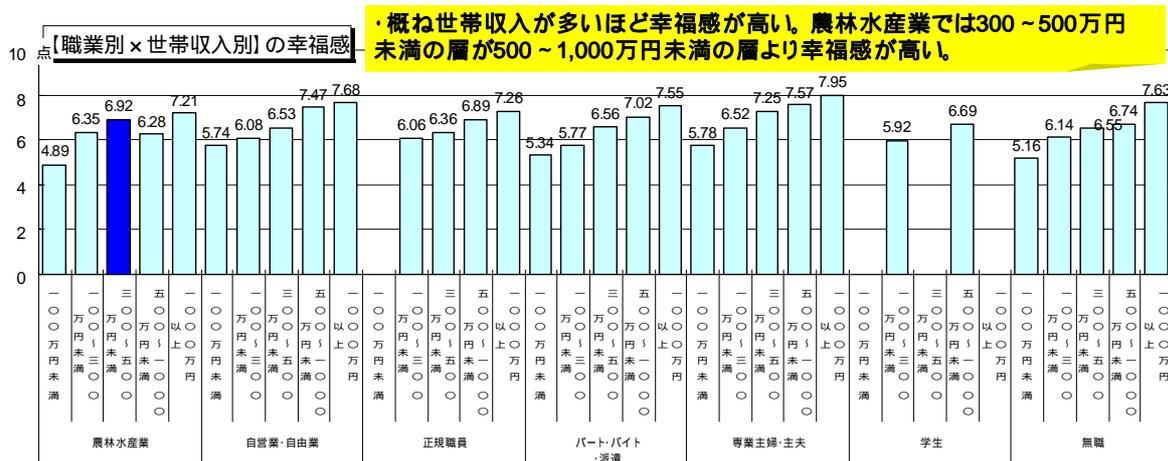


職業別、世帯収入別の幸福感を見ると、概ね世帯収入が多いほど幸福感が高くなっています。

ただし農林水産業では世帯収入が300～500万円未満の層が500～1,000万円未満の層より幸福感が高くなっています。

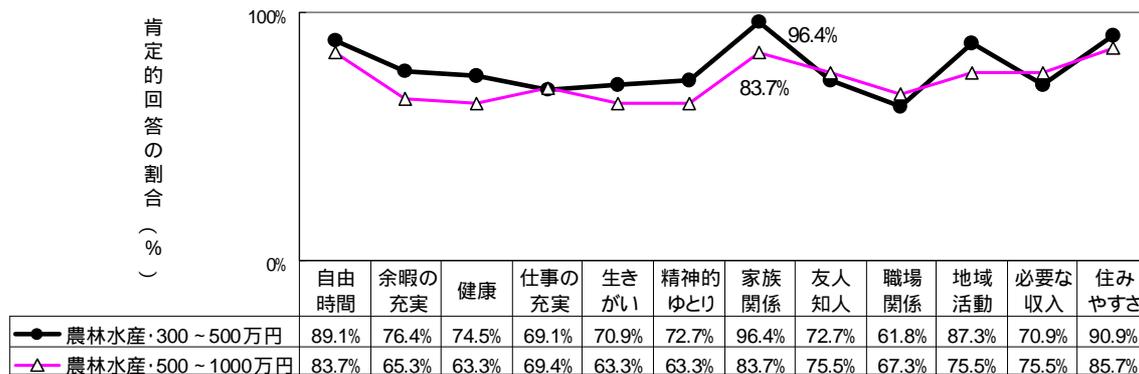
図表：職業別、世帯収入別の幸福感

サンプル数(n)が10未満の属性については、幸福感の平均値のグラフを非表示としています。



農林水産業における世帯収入が300～500万円未満の層の暮らしの実感を見ると、同じ農林水産業の500～1000万円未満の層より「家族との関係」が良好であるなどと感じています。

図表：職業別(農林水産業) 世帯収入別(300～500万円未満・500～1000万円未満)の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

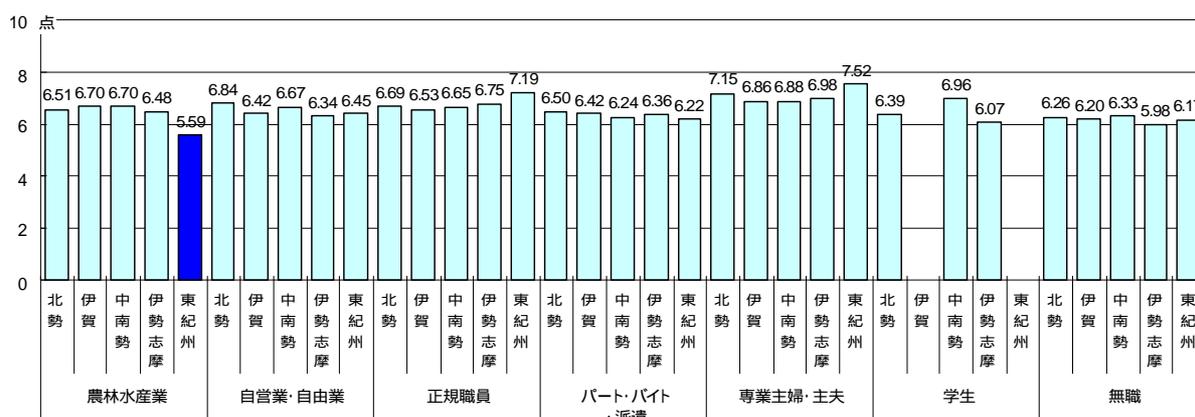
【要点】

職業別、世帯収入別の幸福感を見ると、概ね世帯収入が多いほど幸福感が高くなっています。その中で、農林水産業では、世帯収入が300～500万円未満の層の方が、より世帯収入の高い500～1000万円未満の層より幸福感が高く、暮らしの実感は「家族との関係」が良好であるなどと感じています。

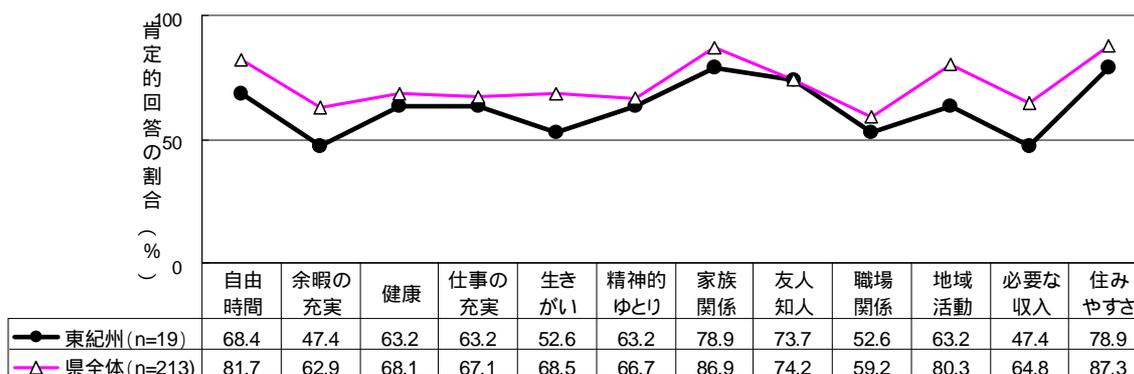
2(15) 職業別×地域別

職業別、地域別に幸福度をみたと、東紀州地域の農林水産業(n=17)が他の地域と比べて低くなっています。

図表：地域、職業別の幸福度



東紀州地域の農林水産業に従事する方の暮らしの実感をみると、県全体と比べ、統計的に有意な差は認められないものの、「生きがい」や「必要な収入」がないと感じており、「ご近所付き合いや地域での活動」をしていると感じていない傾向が見られます。



肯定的回答の割合について、12項目いずれも統計的に有意な差は認められない

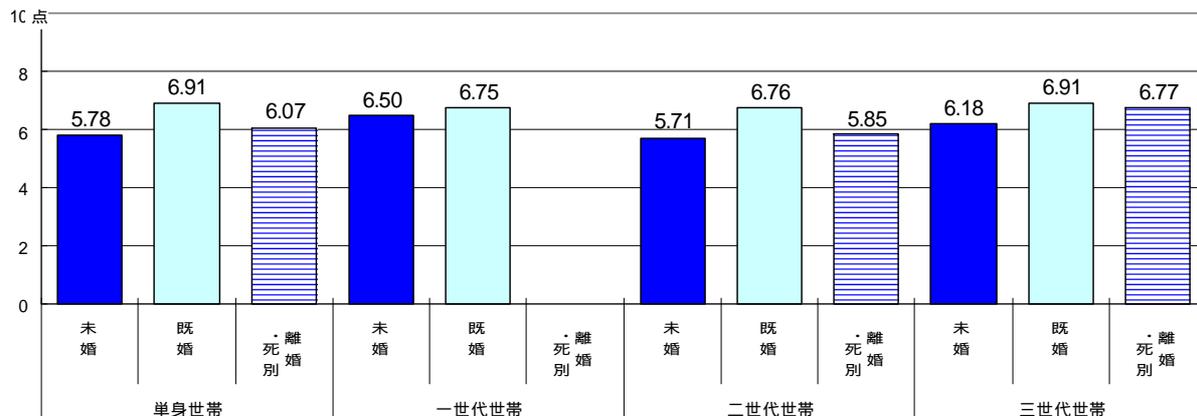
【要点】

東紀州地域の農林水産業は他の地域の農林水産業と比べ、幸福度が低くなっています。

2(16) 結婚別×世帯構成別

結婚別・世帯構成別に幸福感を見たところ、二世世代世帯、三世世代世帯では未婚よりも既婚の方が高くなっています。

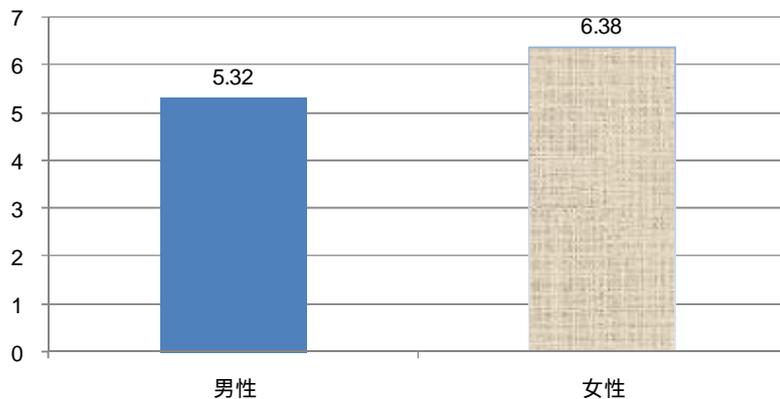
図表：結婚別、世帯構成別の幸福感



一世代世帯において、未婚 n=21>と既婚の間で統計的に優位な差は認められません。

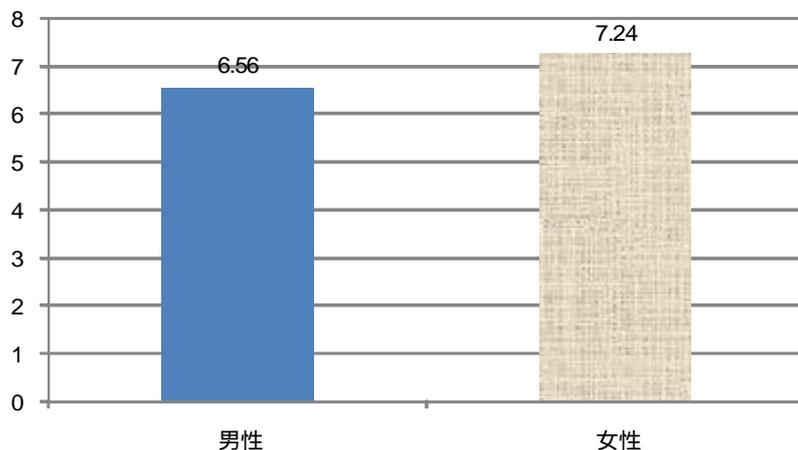
単身世帯の未婚の男女別を見ると、女性より男性の方が幸福感は低くなっています。

図表：性別、結婚別、世帯構成別の幸福感



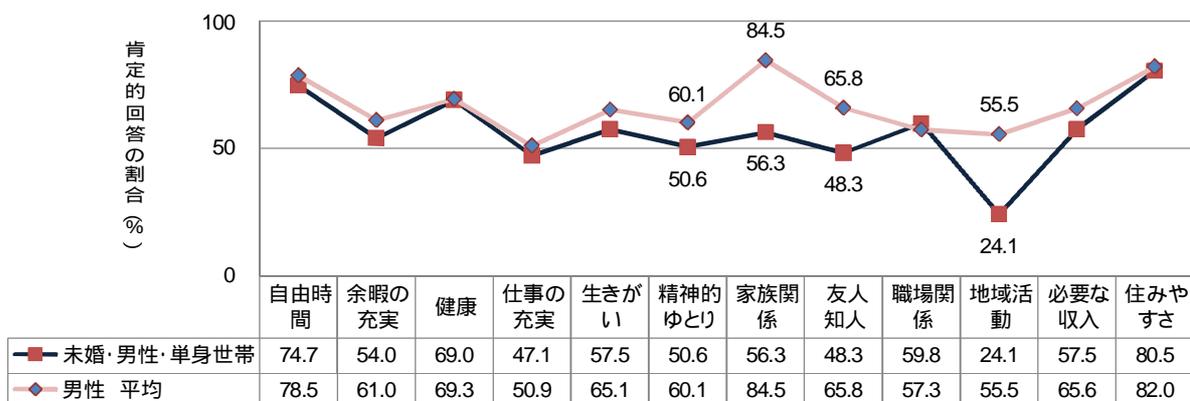
三世世代世帯の既婚の男女別を見ると、男性より女性の方が高くなっています。

図表：性別、結婚別、世帯構成別の幸福感



未婚男性の単身世帯の暮らしの実感を見ると、男性の平均より、「精神的なゆとり」がなく、「家族との関係」が良好でなく、「相談できる友人や知人」がいないなどと感じています。

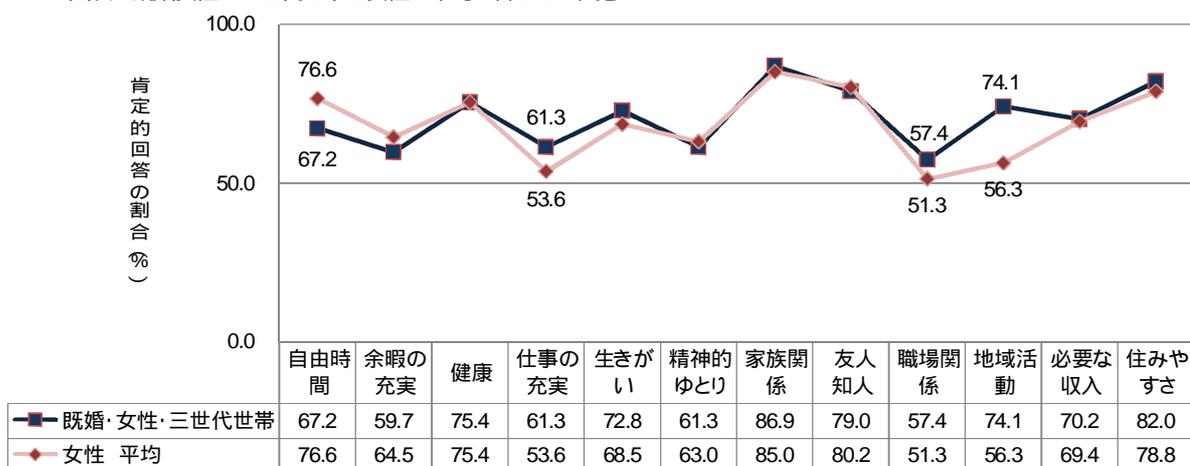
図表：未婚男性の単身世帯と男性平均の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字のあるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

既婚女性の三世帯世帯の暮らしの実感を見ると、女性の平均より、「自由な時間」がないと感じているものの、「仕事は充実」しており、「職場での人間関係」が良好であるなどと感じています。

図表：既婚女性の三世帯世帯と女性の平均の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字のあるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

結婚別・世帯構成別に幸福感を見ると、単身世帯、二世帯世帯、三世帯世帯では未婚よりも既婚の方が高くなっています。

未婚男性の単身世帯の暮らしの実感を見ると、男性の平均より、「精神的なゆとり」がなく、「家族との関係」が良好でなく、「相談できる友人や知人」がいないなどと感じています。

既婚女性の三世帯世帯の暮らしの実感を見ると、女性の平均より、「自由な時間」がないと感じているものの、「仕事は充実」しており、「職場での人間関係」が良好であるなどと感じています。

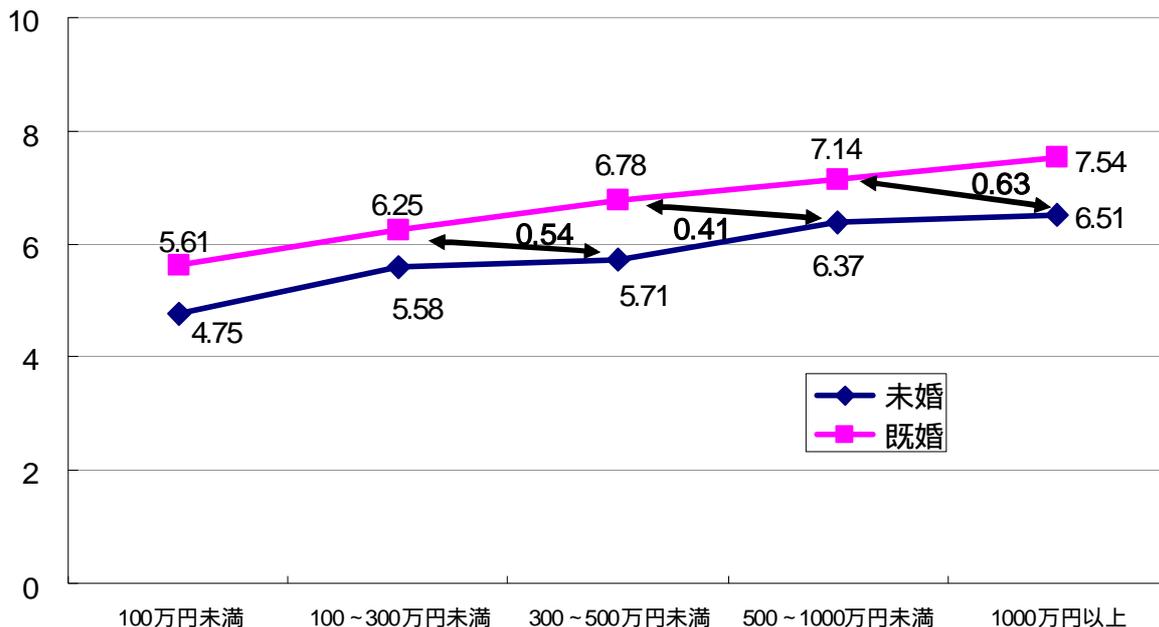
2(17) 結婚別×世帯収入別

第1章 14ページ関係

結婚別、世帯収入別の幸福度を見ると、世帯収入が同じ層では、既婚の方が未婚より幸福度が高くなっています。

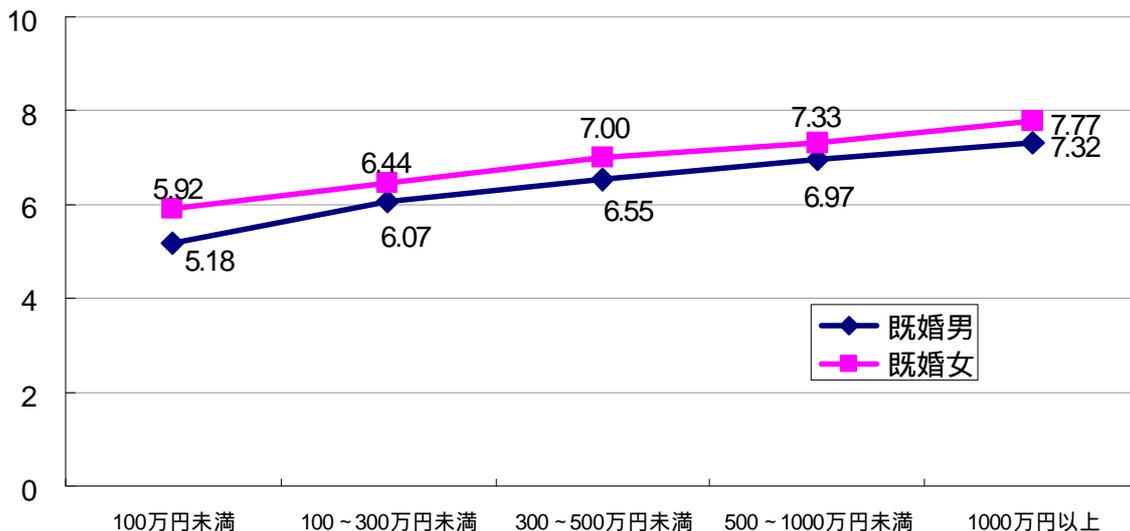
さらに、世帯収入が100万円以上の既婚は、世帯収入が一段階高い未婚の層と比べても幸福度が高くなっています。

図表：結婚別、世帯収入別の幸福度

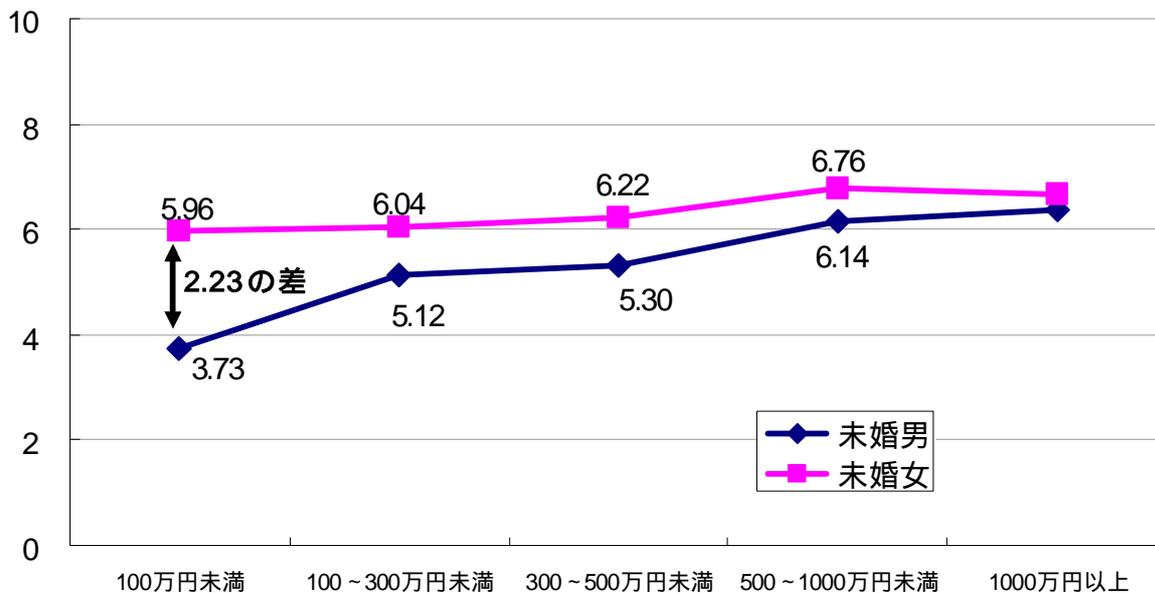


結婚別、世帯収入別の幸福度を、さらに男女別にみても、未婚は既婚よりも男女間の差が大きく、世帯収入が低くなるほどその差が広がる傾向が見られます。

図表：既婚、世帯収入別、性別の幸福度

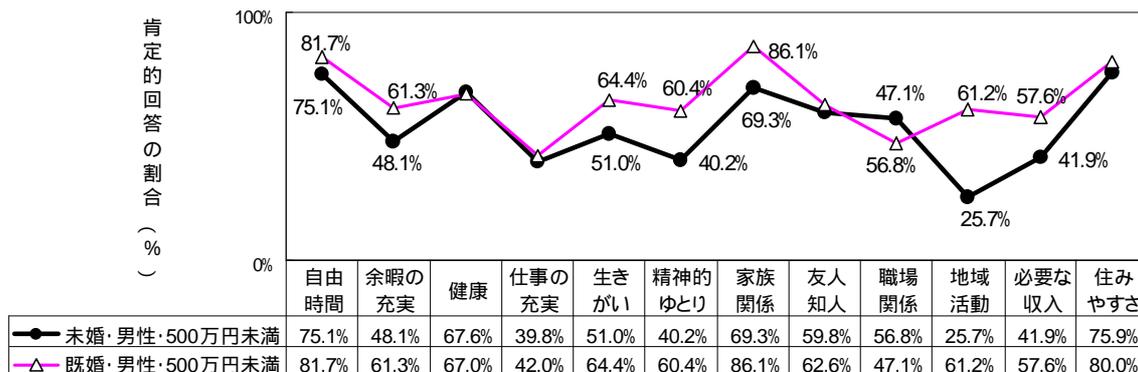


図表：未婚、世帯収入別、性別の幸福度



男性の世帯収入が500万円未満の層における既婚の暮らしの実感は、未婚の場合より「精神的なゆとり」や「生きがい」、「必要な収入」があり、「余暇は充実」しており、「ご近所付き合いや地域での活動」をしているなどと感じています。

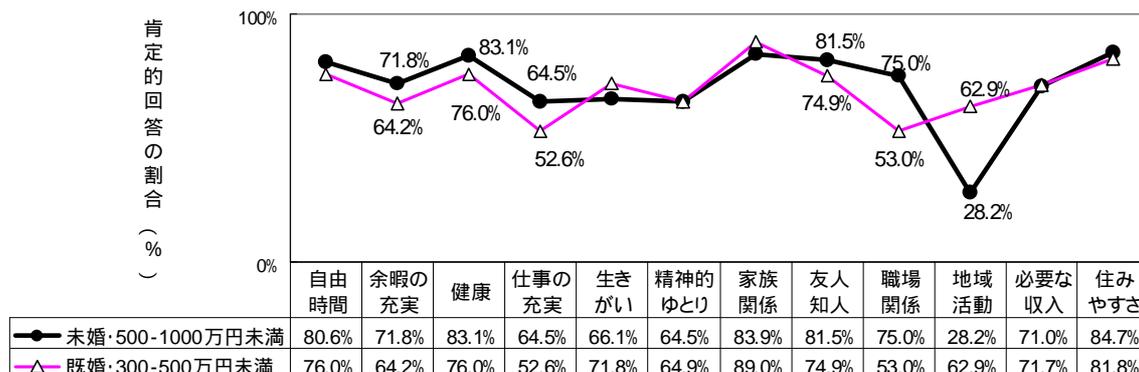
図表：結婚別、性別(男性)世帯収入別(500万円未満)の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

世帯収入が300～500万円未満の層における既婚の暮らしの実感は、世帯収入が500～1000万円未満の層における未婚の場合より、「ご近所付き合いや地域での活動」をしていると感じていますが、「余暇」や「仕事」は充実しておらず、「職場での人間関係」は良好でないなどと感じています。

図表：結婚別、世帯収入別の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

世帯収入が同じ層では、既婚の方が未婚より幸福感が高くなっており、世帯収入が100万円以上の既婚は、世帯収入が一段階高い未婚の層と比べても幸福感が高くなっています。

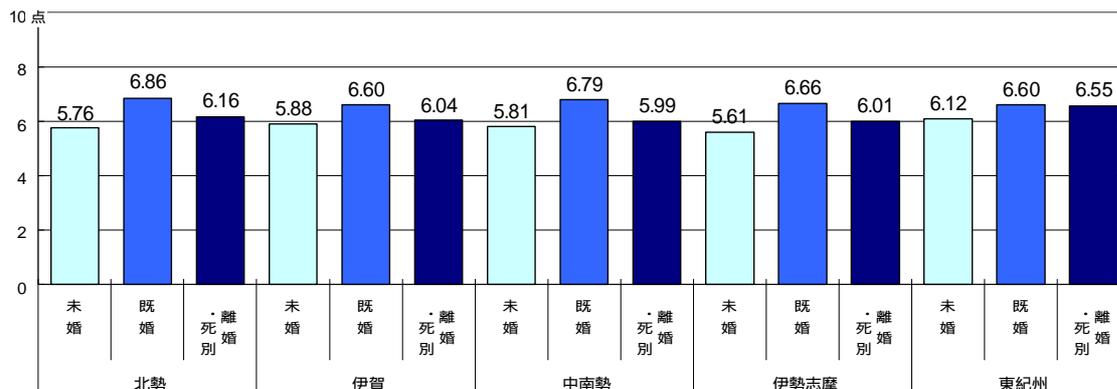
男女間の幸福感の差を見ると、既婚より未婚の方が差が大きく、特に収入が低くなるほどその差が広がる傾向が見られます

男性の世帯収入が500万円未満の層における既婚の暮らしの実感は、未婚の場合より「精神的なゆとり」や「生きがい」、「必要な収入」があり、「余暇は充実」しており、「ご近所付き合いや地域での活動」をしているなどと感じています。

2(18)結婚別×地域別

結婚別、地域別で幸福度を見たところ、東紀州地域を除く全ての地域で既婚の幸福度が最も高くなっています。

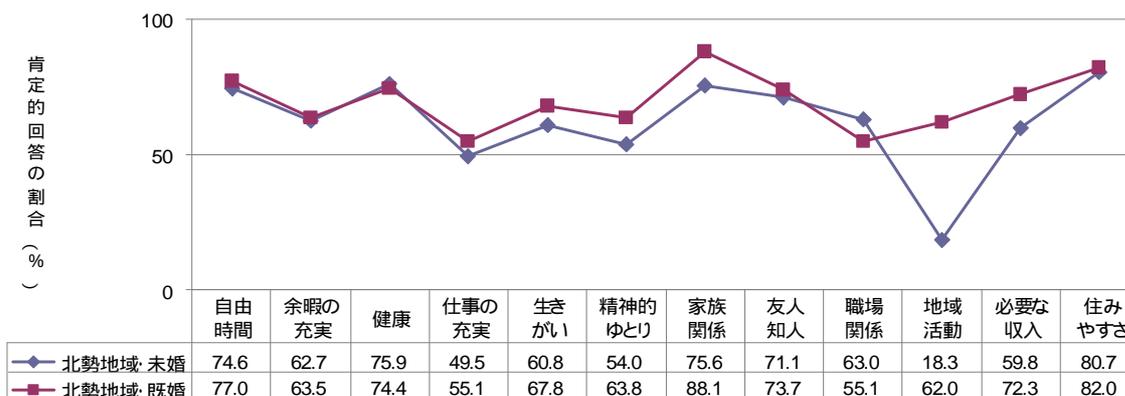
図表: 地域別 結婚別の幸福度



東紀州地域については、既婚と離婚・死別、未婚との間に統計的に有意な差は認められない。

一番サンプル数の多い北勢地域の未婚、既婚について暮らしの実感を見ると、北勢地域の既婚は未婚より、「職場での人間関係」は良好でないものの、「必要な収入」や「生きがい」、「精神的なゆとり」があり、「家族との関係」が良好で、「ご近所付き合いや地域での活動」をしているなどと感じています。

図表: 北勢地域の未婚 既婚の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

全ての地域で既婚の幸福度が最も高い傾向が見られます。

北勢地域の既婚の暮らしの実感、北勢地域の未婚とより、「職場での人間関係」は良好でないものの、「必要な収入」や「生きがい」、「精神的なゆとり」があり、「家族との関係」が良好で、「ご近所付き合いや地域での活動」をしているなどと感じています。

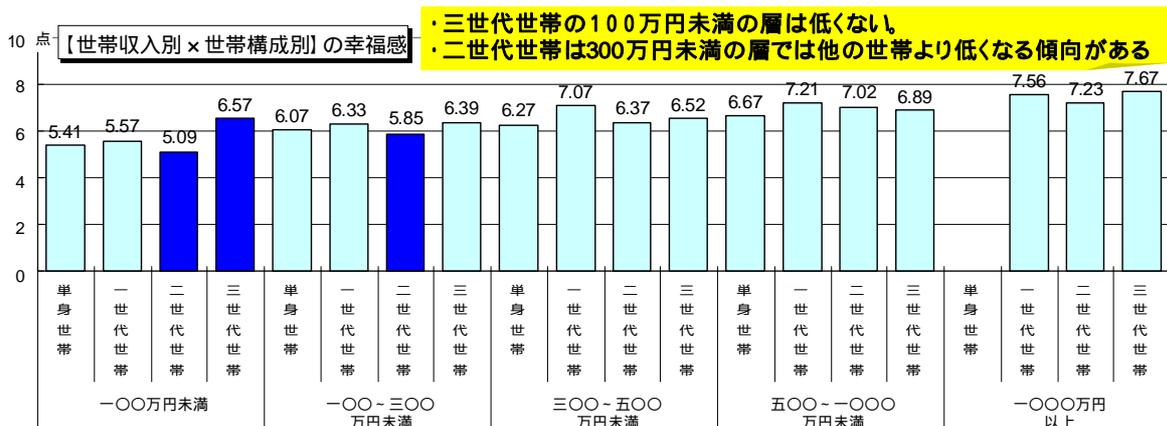
2(19) 世帯構成別×世帯収入別

第1章 15ページ関係

世帯収入が100万円未満の層における三世帯世帯(n=31)の幸福度は低くなく、全体の幸福度と同じ程度となっています。

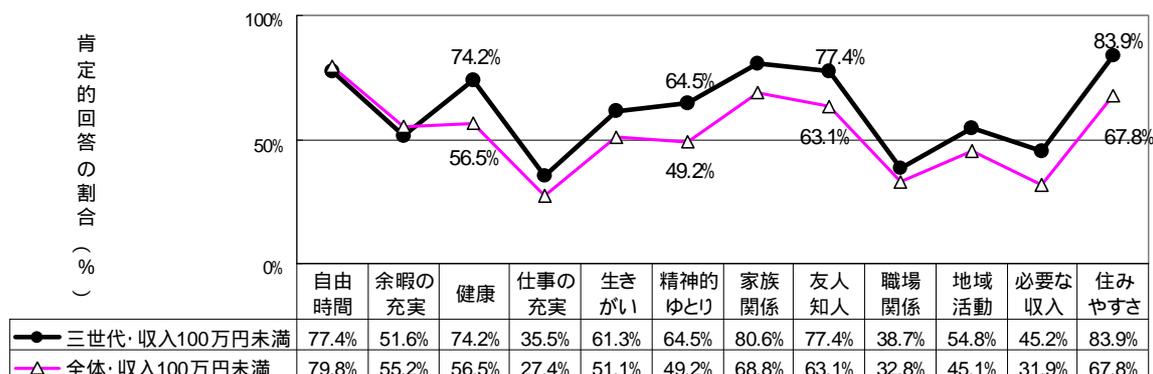
また、世帯収入が300万円未満の層における二世帯世帯では、他の世帯構成より幸福度が低くなる傾向があります。

図表：世帯別、世帯収入別の幸福度



世帯収入が100万円未満の層における三世帯世帯の暮らしの実感は、同じ世帯収入の層における全世帯より「健康」であり、「精神的なゆとり」があり、「相談できる友人や知人」があり、地域は「住みやすい」などと感じています。

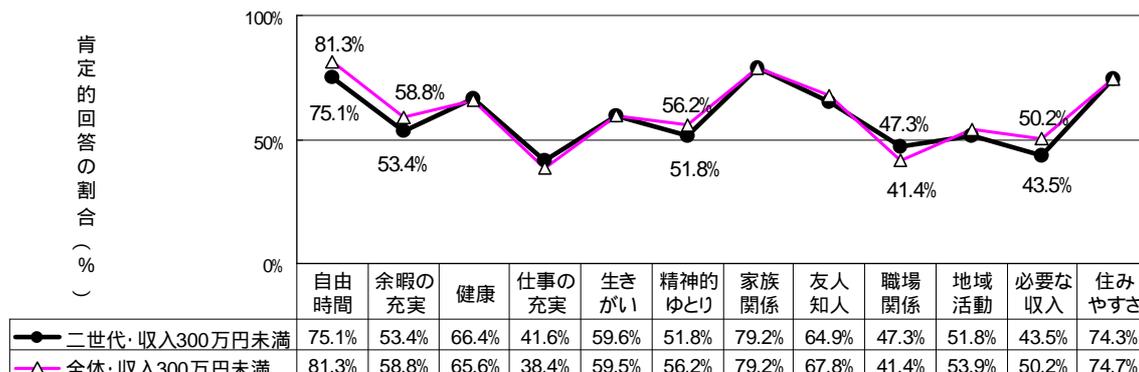
図表：世帯構成別、世帯収入別(100万円未満)におけるの暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

世帯収入が300万円未満の層における二世世代世帯の暮らしの実感は、同じ世帯収入の層における全世帯より「自由な時間」や「精神的なゆとり」、「必要な収入」がなく、「余暇は充実」していないなどと感じています。

図表：世帯構成別、世帯収入別（300万円未満）におけるの暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

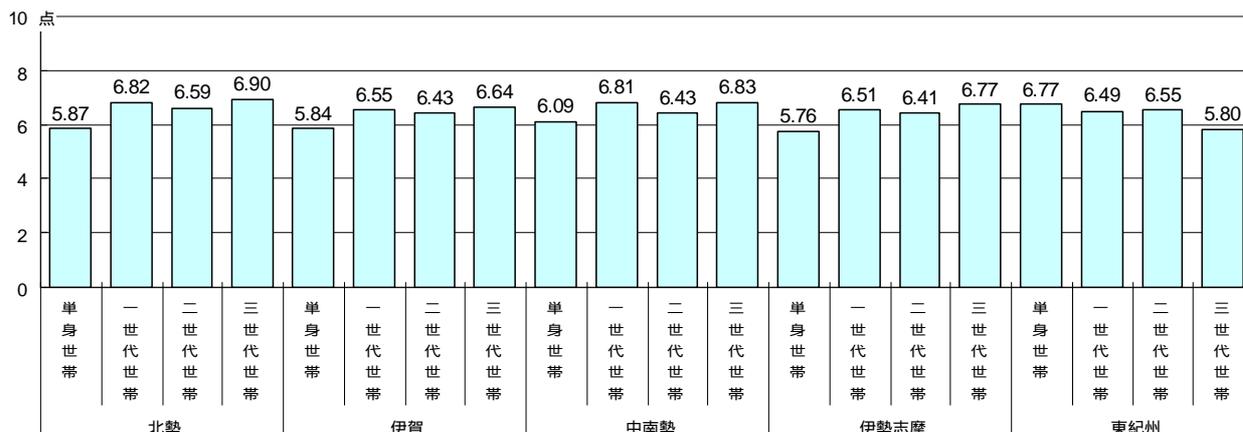
世帯収入が100万円未満の層における三世世代世帯の幸福感は低くなく、全体の幸福感と同じ程度となっており、その暮らしの実感は、同じ世帯収入の層における全世帯より「健康」であり、「精神的なゆとり」があり、「相談できる友人や知人」がおり、地域は「住みやすい」と感じています。

また、世帯収入が300万円未満の層における二世世代世帯は、他の世帯構成より幸福感が低くなる傾向があり、その暮らしの実感は、同じ世帯収入の層における全世帯より「自由な時間」や「精神的なゆとり」、「必要な収入」がなく、「余暇は充実」していないなどと感じています。

2(20) 世帯構成別×地域別

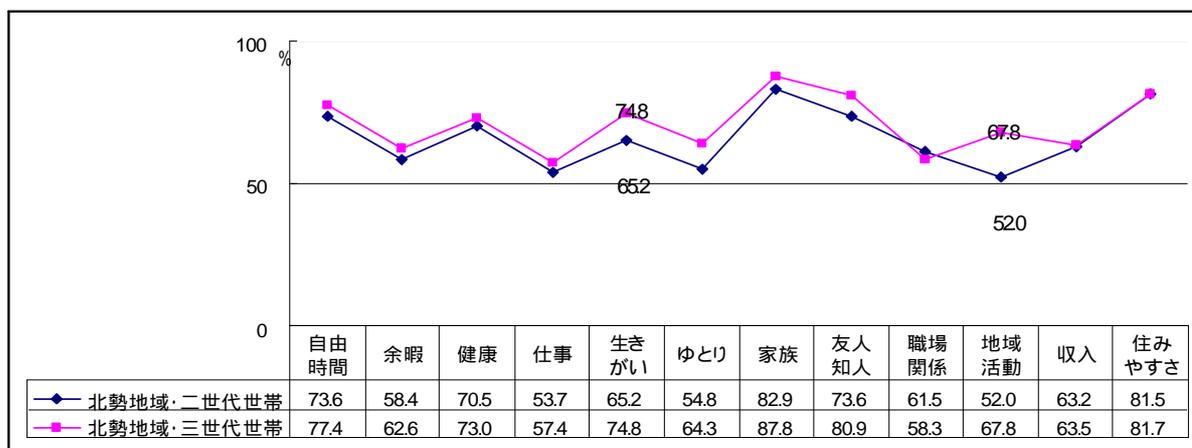
東紀州を除くすべての地域で、三世帯世帯の幸福度が最も高く、単身世帯が最も低くなっています。

図表 地域別 世帯別の幸福度



最もサンプル数の多い北勢地域の二世帯世帯と三世帯世帯について、暮らしの実感を見たところ、北勢地域の三世帯世帯は二世帯世帯と比べ、「生きがい」があり、「ご近所付き合いや地域での活動」をしているなどと感じています。

図表: 北勢地域 二世帯世帯 三世帯世帯の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

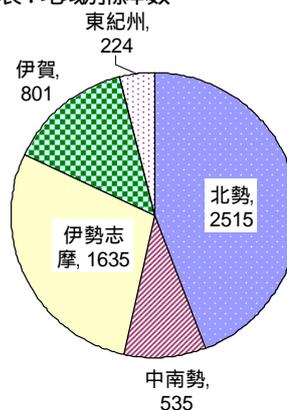
東紀州地域を除く全ての地域で三世帯世帯の幸福度が最も高く、単身世帯が低くなっています。また、北勢地域の三世帯世帯は二世帯世帯と比べ、「生きがい」があり、「ご近所付き合いや地域での活動」をしているなどと感じています。

2(21) 世帯収入別、地域別からみた幸福感

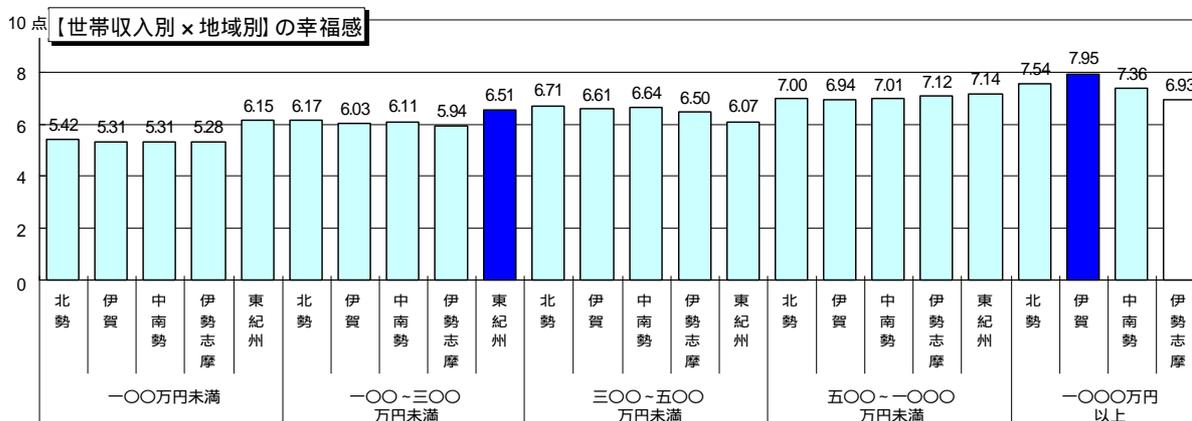
世帯収入別、地域別の幸福感を見ると、世帯収入が100～300万円未満の層では、東紀州地域の幸福感が同じ世帯収入の層における全地域の幸福感より高くなっています。

また、世帯収入が1000万円以上の層では、伊勢志摩地域における幸福感(n=44)が全地域より低い一方、伊賀地域における幸福感(n=22)は全地域より高くなっています。

図表：地域別標本数

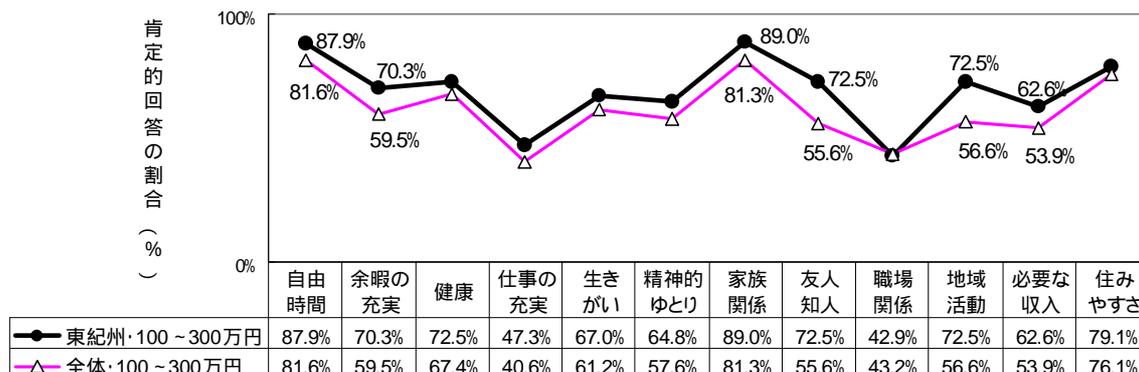


図表：地域別、世帯収入別の幸福感



世帯収入が100～300万円未満の層においては、東紀州地域の暮らしの実感、全地域より「余暇は充実」しており「相談できる友人や知人」がいて、「ご近所づきあいや地域での活動」をしているなど感じています。

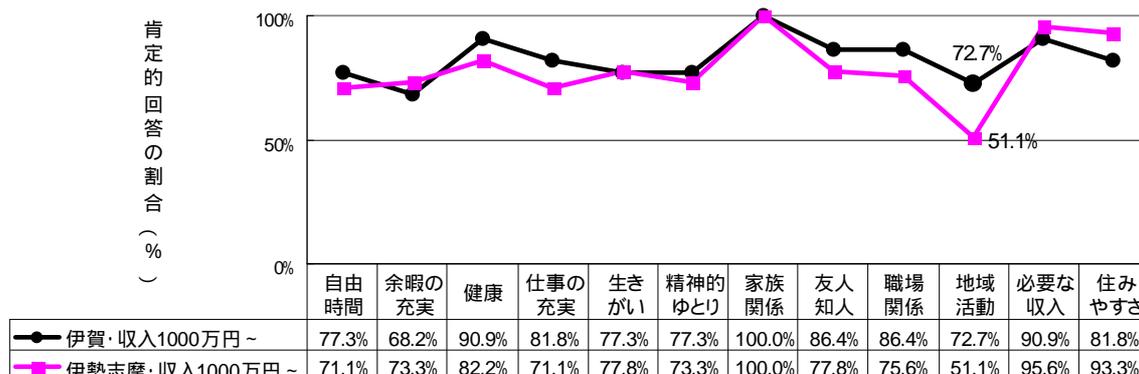
図表：世帯収入別(100～300万円未満)・地域別(東紀州地域)の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

世帯収入が1000万円以上の層においては、伊賀地域の暮らしの実感、伊勢志摩地域に比べて「ご近所づきあいや地域での活動」をしているなど感じています。

図表：世帯収入別(1000万円以上)・地域別(伊賀地域・伊勢志摩地域)の暮らしの実感



折れ線グラフの中に数字の記載があるものは、肯定的回答の割合について統計的に有意な差が認められる項目

【要点】

世帯収入が100～300万円未満の層では、東紀州地域の幸福度が同じ世帯収入の層における全地域の幸福度より高くなっており、その世帯収入の層における暮らしの実感、東紀州地域は全地域より「余暇は充実」しており「家族との関係」が良好であり、「ご近所づきあいや地域での活動」をしているなど感じています。